

令和 6 年度第 6 回川崎市社会教育委員会議 定例会

日 時 令和 6 年 1 2 月 2 0 日 (金)
1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0
場 所 高津市民館 大会議室

次 第

- 1 開会 (18 : 30~18 : 35)
- 2 報告事項
(1) 次期かわさき教育プラン策定に向けたアンケート結果等について 【資料 1】
(18 : 35~19 : 10)
- 3 協議事項
(1) 家庭教育支援の取組について 【資料 2 - 1】
(19 : 10~20 : 20) 【資料 2 - 2】
- 4 その他 (20 : 20~20 : 25)
- 5 閉会 (20 : 25~20 : 30)

※ () 内は質疑応答を含む想定時間

次期かわさき教育プラン策定に 向けたアンケート結果等について

令和6年12月20日（金）
教育委員会事務局教育政策室

- 1 概要
- 2 アンケート（速報）
- 3 ワークショップ等（速報）
- 4 基本理念・基本目標の検討に向けた
今後の方向性

1 概要

2 アンケート（速報）

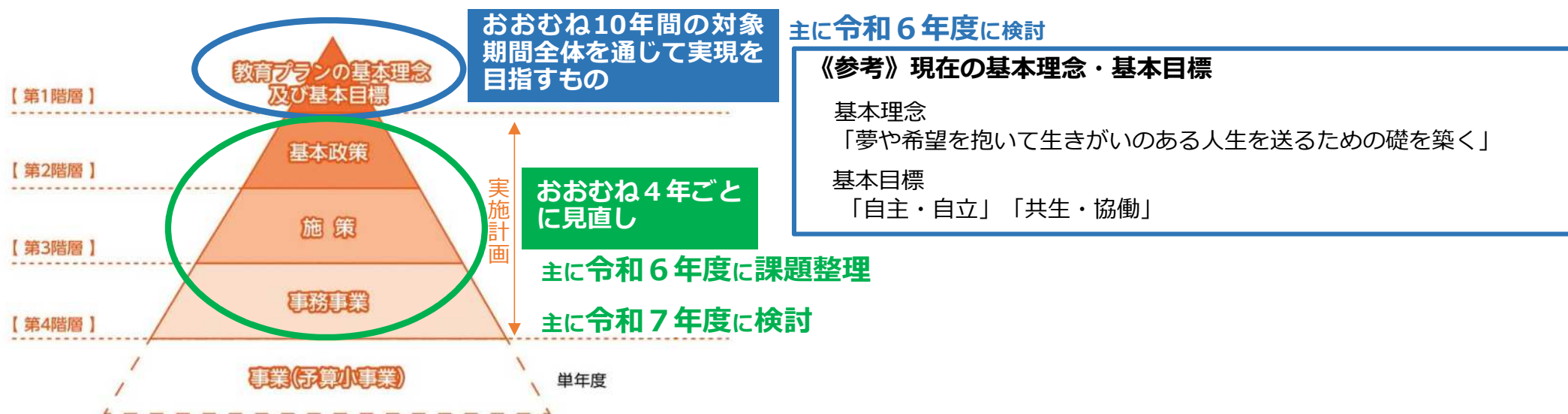
3 ワークショップ等（速報）

4 基本理念・基本目標の検討に向けた 今後の方向性

1 概要

(1) 目的

次期「かわさき教育プラン」策定に向けて、学校・家庭・地域等が「みんなで作り上げたプラン」となるよう、市立学校の児童生徒や保護者、教職員、関係団体等に対して、将来像や今後求められる資質等についての意見を伺い、同プランの基本理念や基本目標を検討する上での基礎資料とする。



(2) 手法

1 アンケート

- ・ 児童生徒、保護者及び教職員へのアンケート（ロゴフォームで回答）
- ・ 社会教育団体へのアンケート（ロゴフォームで回答）
- ・ 市民アンケート（郵送・WEBを選択して回答）

2 ワークショップ等

- ・ 市立学校、保護者（PTA）、地域教育会議等に対して対面でワークショップ等を実施

1 概要

2 アンケート（速報）

3 ワークショップ等（速報）

4 基本理念・基本目標の検討に向けた
今後の方向性

2 アンケート（速報）

概要

1 児童生徒・保護者・教職員へのアンケート

- (1) 調査対象 市立学校の児童生徒※及び保護者、教職員
※市立小学校（4～6年生）、市立中学校（全学年）市立高等学校（全学年）、市立特別支援学校高等部（全学年）
- (2) 調査期間 令和6年7月8日（月）～7月31日（水）
- (3) 質問数（属性含む） 児童生徒・保護者11問 教職員10問
- (4) 回答方法 GIGA端末等を活用しロゴフォームで回答
- (5) 回答数 児童生徒 35,351人／71,158人（49.7%）
保護者 29,713人／107,579人（27.6%）
教職員 2,670人／7,275人（36.7%）

2 社会教育関係者へのアンケート

- (1) 調査対象 地域教育会議、寺子屋先生、図書館関係ボランティア、識字ボランティア、保育ボランティア、文化財ボランティア
- (2) 調査期間 令和6年8月19日（月）～9月6日（金）
- (3) 質問数（属性含む） 12問
- (4) 回答方法 ロゴフォームで回答
- (5) 回答数 284人／4,871人（5.8%）

3 市民アンケート

- (1) 調査対象 18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- (2) 調査期間 令和6年8月23日（金）～9月9日（月）
- (3) 質問数（属性含む） 12問
- (4) 回答方法 郵送・WEBを選択して回答
- (5) 回答数 1,265人／3,000人（42.2%）

回答者計**69,283**人

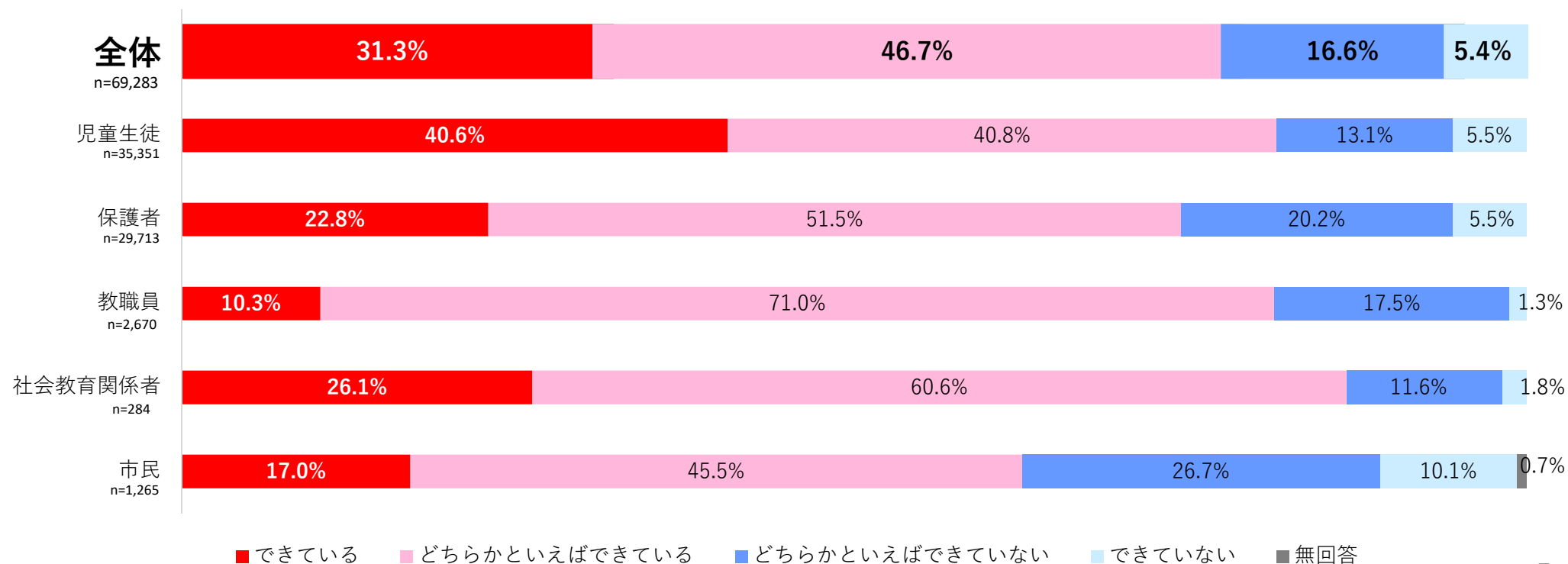
2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q1 あなたは、将来に対して夢や希望をもって生活することができますか。

※保護者／教職員に対しては「お子様／児童生徒は、将来に対して夢や希望をもって生活できていると感じていますか。」との設問

- ✓ 全体の約8割が、「将来に対して夢や希望をもって生活できている」ということに、肯定的な回答をしている。
- ✓ 児童生徒においては、令和3年度に実施した同設問の調査結果に比べ、肯定的な回答をした割合が多くなっている。



2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q2 将来、子どもたちにはどのような大人になってほしいですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

※児童生徒に対しては「あなたは、将来、どのような大人になりたいですか。」との設問

- ✓ 全体では、「思いやりがあり、優しい人」が最も多く、約6割が回答している。
- ✓ 次いで「自分で考え、主体的に行動できる人」、「夢や希望を持ち、人生を送ることができる人」の順で多く回答している。

選択肢	全体 n=69,283	児童生徒 n=35,351	保護者 n=29,713	教職員 n=2,670	社会教育関係者 n=284	市民 n=1,265
思いやりがあり、優しい人	1 60.3%	1 65.6%	2 55.1%	2 53.5%	41.9%	2 54.8%
自分で考え、主体的に行動できる人	2 58.6%	3 42.1%	1 76.8%	1 71.2%	1 75.4%	1 60.1%
夢や希望を持ち、人生を送ることができる人	3 43.2%	2 51.1%	34.4%	36.7%	3 43.0%	3 43.3%
困難な状況から、立ち直ることができる人	31.8%	23.8%	3 41.4%	34.5%	28.5%	28.0%
多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人	31.4%	24.5%	37.1%	3 53.1%	2 53.5%	40.3%
社会や周りの変化に対応できる人	30.7%	27.2%	34.6%	34.9%	22.2%	30.2%
世界的に活躍できる人	13.0%	21.2%	4.5%	1.3%	3.9%	7.7%
様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人	8.3%	10.2%	5.5%	8.1%	19.4%	17.3%
その他	1.9%	3.1%	0.7%	0.8%	0.0%	1.5%
無回答						0.4%

2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q3 前問のような大人になるためには、どのような資質や能力が必要だと思いますか。
当てはまるものを3つまで選んでください。

- ✓ 全体では、「問題を解決するための思考力・行動力」が最も多く、約半数が回答している。
- ✓ 次いで「他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力」、「失敗を恐れず挑戦する力」の順で多く回答している。
- ✓ 児童生徒においては、「基礎的・基本的な知識・技能」が最も多く、それ以外の属性の回答者と異なる結果となった。

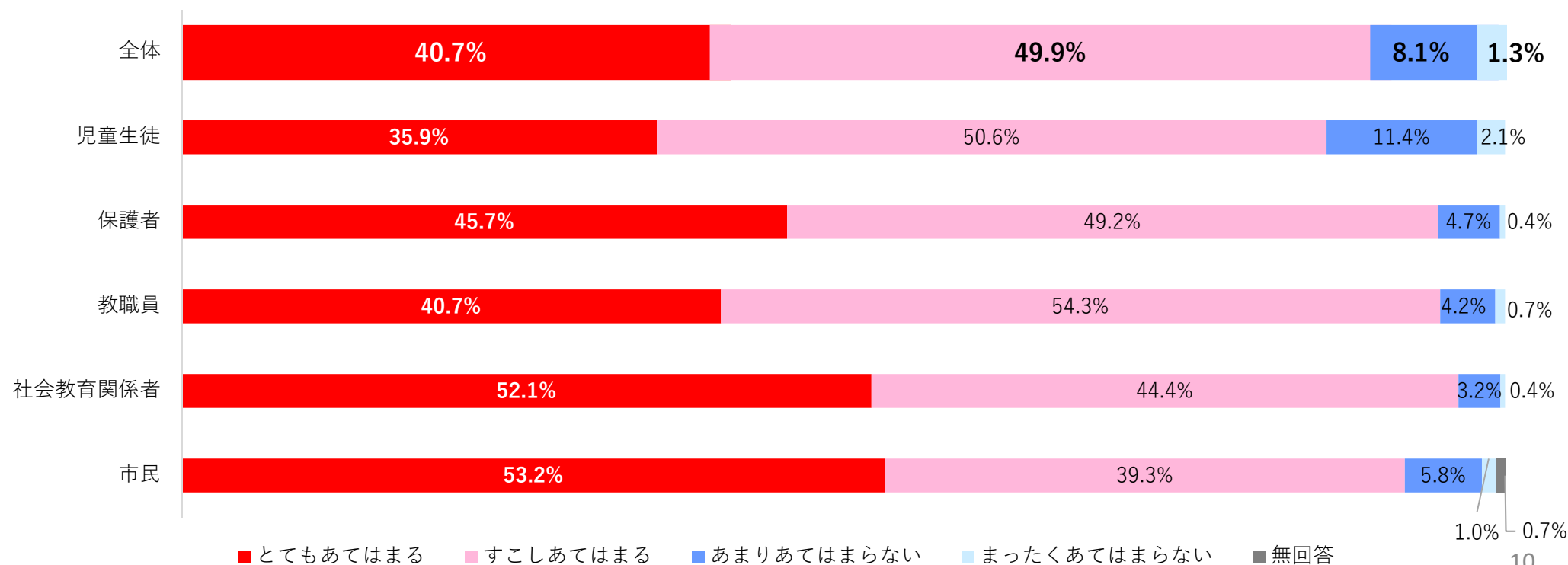
選択肢	全体 n=69,283		児童生徒 n=35,351		保護者 n=29,713		教職員 n=2,670		社会教育関係者 n=284		市民 n=1,265	
問題を解決するための思考力・行動力	1	46.4%	3	39.0%	1	55.0%	2	46.6%	1	54.2%	2	46.2%
他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力	2	41.7%		33.4%	2	48.9%	1	62.5%	2	52.8%	1	56.2%
失敗を恐れず挑戦する力	3	41.2%	2	46.1%		37.0%		31.6%		25.0%		27.0%
基礎的・基本的な知識・技能		37.8%	1	46.8%		28.2%		28.5%		32.0%	3	36.0%
自分の考えを持って、表現する力		34.2%		28.3%	3	41.4%		33.5%		32.7%		31.4%
自ら主体的に学びに向かう力・姿勢		33.8%		27.6%		40.5%	3	38.6%	3	41.2%		34.5%
違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力		16.4%		12.3%		19.8%		28.1%		30.6%		22.4%
新しいものや考えを生み出す創造的な力		12.7%		16.5%		8.7%		7.2%		14.1%		12.6%
社会生活に必要な常識やきまりを守る力		12.5%		13.2%		11.0%		16.5%		9.5%		18.2%
集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ		7.5%		12.8%		2.0%		1.3%		2.5%		2.2%
その他		0.8%		1.1%		0.5%		0.6%		0.4%		1.0%
無回答												0.4%

2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q4 あなたは、学校において、社会の変化に合わせてこれまでとは違う新しい学び方を取り入れるべきだと思いますか。

- ✓ 全体の約9割が、学校においてこれまでとは違う新しい学び方を取り入れることについて、肯定的な回答をしている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている。



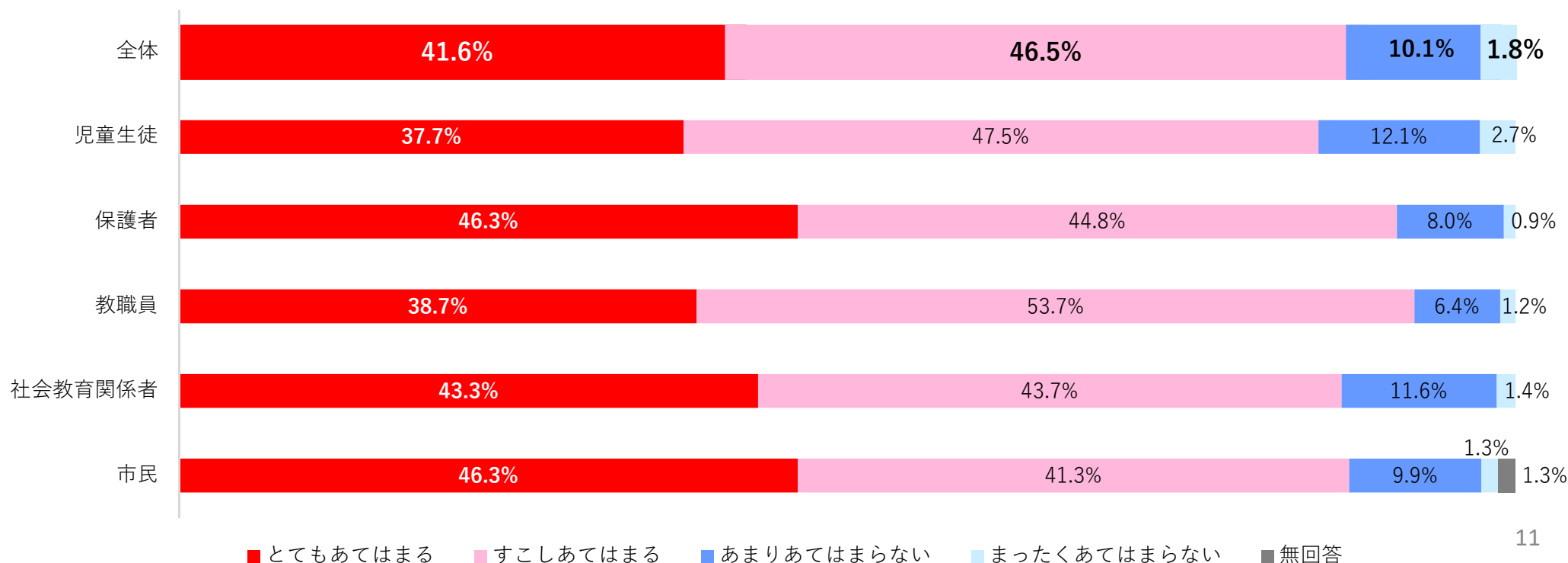
2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q5 あなたは、学校における日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを、学校での学びや児童生徒への指導の改善に役立てていくべきと考えますか。

※児童生徒に対しては「日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを、自分の学習や生活をよりよくすることに役立てたいと考えますか。」との設問

- ✓ 全体の約9割が、日々の学習状況や学校生活の記録などのデータを学校での学びや児童生徒への指導の改善に役立てることについて、肯定的な回答をしている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている。

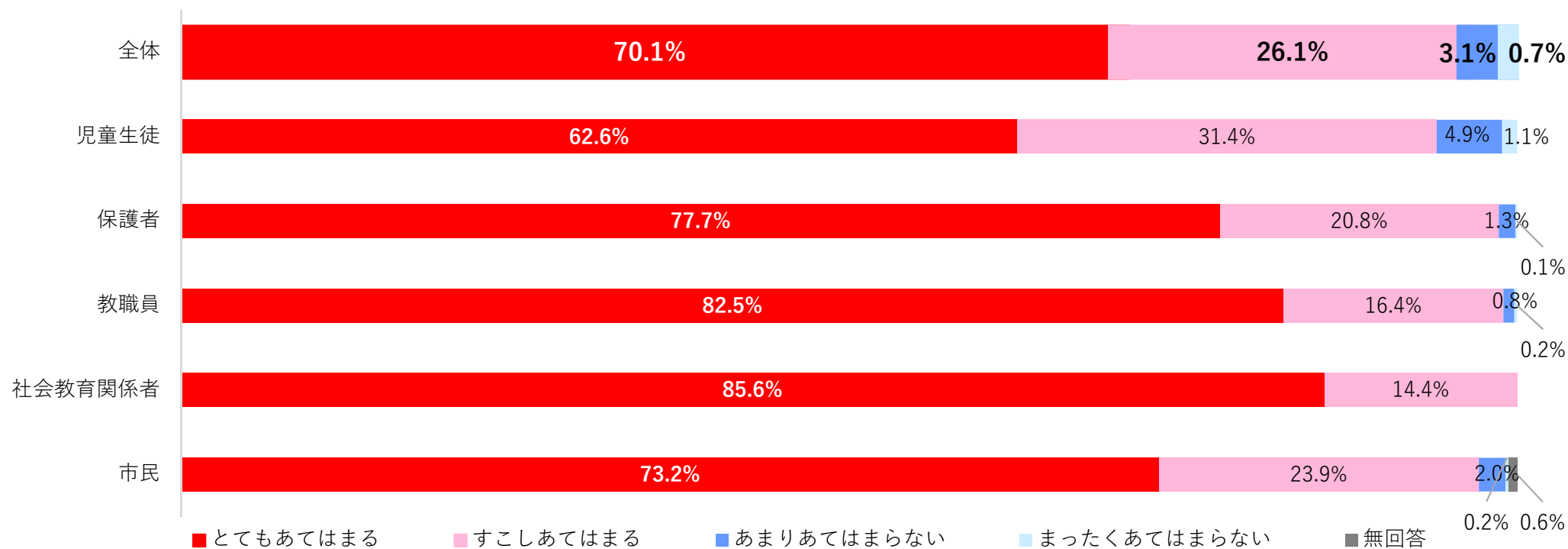


2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q6 あなたは、学校を卒業した後も、生涯を通じて学び続けることは重要と考えますか。

✓ 全体の9割以上が、生涯を通じて学び続けることが重要と考えている。



2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q7 「人生100年時代」において、あなたは、学校以外でどのように学び、活動していくことが必要だと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

- ✓ 全体では、「人生の各場面で生じる様々な課題に対応して学んでいくこと」が最も多く、約6割が回答している。
- ✓ 次いで「多様な年代や多彩な属性の他者と共に学んでいくこと」、「生涯にわたって能動的に学び続けること」の順で多く回答している。

選択肢	全体 n=1,549		社会教育関係者 n=284		市民 n=1,265	
人生の各場面で生じる様々な課題に対応して学んでいくこと		54.5%		46.1%		56.2%
多様な年代や多彩な属性の他者と共に学んでいくこと		53.6%		61.3%		51.2%
生涯にわたって能動的に学び続けること		52.9%		55.3%		52.0%
社会の変化に対応していくため、必要となるスキル等を学び続けること		52.1%		39.1%		54.9%
地域社会の担い手につながるような学びや活動		18.1%		27.8%		15.6%
地域の住民自身が主体的に教え、学び合う当事者となるような活動		14.5%		26.8%		11.6%
関係機関との連携やICTの利用などにより誰一人として取り残すことのない学びや活動		13.3%		12.0%		13.6%
その他		1.4%		0.7%		1.6%
無回答						0.9%

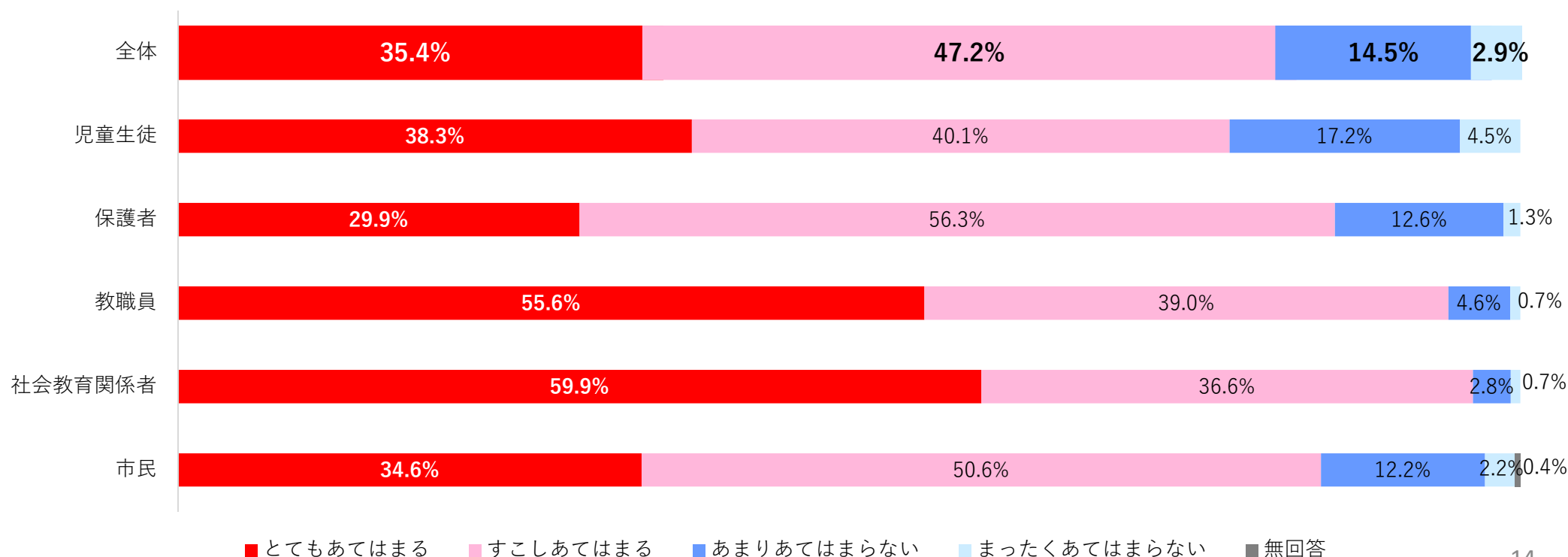
2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q8 あなたは、地域の人材や保護者などが、学校での教育活動や地域での子育てに積極的に関わっていくべきと考えますか。

※児童生徒に対しては「あなたは、家族以外の地域の大人たちと、交流したり話をしたりするなど、関わりたいと思いますか。」との設問

- ✓ 全体の8割以上が、地域の人材や保護者などが、学校での教育活動や地域での子育てに積極的に関わっていくべきと考えている。
- ✓ 回答者の属性別にみたところ、児童生徒の肯定的な回答が全体よりも低い割合となっている一方で、教職員と社会教育関係者の回答が全体よりも高い割合となっている。



2 アンケート（速報）

結果（速報）

Q9 【自由記述】あなたが今後の川崎市の教育に期待することがあれば教えてください。

<概略>

- **児童生徒へのアンケート**では、**思いやりある教育や教育環境の改善、グローバル教育の拡充、多様性の尊重などの意見**が多く出された。特に、いじめの減少や未来を見据えた教育の実現が求められている。また、プログラミング教育やデジタル化の推進、健康管理や安全対策の強化、経済的支援の無償化についての意見も目立った。
- **保護者へのアンケート**では、**英語教育の強化や多様性・個性の尊重、教育環境の改善、地域と学校の連携などの意見**が多く出された。また、教科担任制の増加やアクティブラーニングの導入、教師の質の向上、インクルーシブ教育の推進などについての意見も目立った。
- **教職員へのアンケート**では、**教育環境の改善やICT利用の推進、働き方改革の推進、教育予算の拡充などの意見**が多く出された。また、教職員の人員確保や労働環境の改善、学級の規模縮小、多様性を尊重する教育などについての意見も目立った。
- **社会教育関係者へのアンケート**では、**国際感覚の育成や自主性、問題解決力の向上、教育機会の充実、教員不足の解消と負担軽減などの意見**が多く出された。また、異文化交流や多様性の受け入れ、ICTの活用、貧困対応などについての意見も目立った。
- **市民へのアンケート**では、**平和教育や教育環境の改善、多様性への理解などの意見**が多く出された。また、世界の現状を学ぶことや地域と教育の連携、多様性教育の推進などについての意見も目立った。

2 アンケート（速報）

まとめ

- 約8割の回答者が、将来に対して夢や希望をもって生活することができていると回答している。
- 子どもたちにどのような大人になってほしいかを考えたとき、半数以上の回答者が「思いやりがあり、優しい人」「自分で考え、主体的に行動できる人」になってほしいと考えている。また、必要な資質・能力として「問題を解決するための思考力・行動力」「他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力」「失敗を恐れず挑戦する力」が多く回答されている。
- 9割以上の回答者が、今後の学校教育において、これまでとは違う新しい学び方を取り入れることや教育データを活用していくことが必要だと考えている。
- 9割以上の回答者が生涯を通じて学び続けることは重要であると考えている。また、8割以上の回答者が地域の人材や保護者などが、学校での教育活動や地域での子育てに積極的に関わっていくべきと考えている。
- 自由意見においては、今後の川崎市の教育に期待することとして、教育環境の改善や多様性の尊重、地域と学校の連携、働き方改革の推進、問題解決力の向上など、幅広い意見が出された。

- 1 意見聴取の概要
- 2 アンケート（速報）
- 3 ワークショップ等（速報）**
- 4 基本理念・基本目標の検討に向けた
今後の方向性

3 ワークショップ等

概要

区分		団体等		人数	場面
学校教育 関係	児童生徒	小学校	旭町小学校（６年生） 上丸子小学校（６年生） 西菅小学校（６年生）	282人	総合的な学習の時間（4/24） 特別活動（7/11） 総合的な学習の時間（6/27）
		中学校	塚越中学校（１年３組） 住吉中学校（２年生） はるひ野中学校（生徒会）	149人	特別活動（6/19） 社会科授業（7/17） 生徒会（7/2）
		高等学校	橘高等学校（３年生）	241人	H R（6/3・10）
		特別支援学校	田島支援学校高等部（１～３年）	127人	生徒総会（7/17）
		川崎市子ども会議		26人	（6/16）
	教職員	教職員	876人	学校支援連絡調整会議（2/14） キャリア担当者研修（4/26） 新任校長研修（7/24） 教頭研修（7/29） 中堅教諭等資質向上研修（7/29） ３年目教員研修（8/27）	
社会教育関係		P T A		16人	川崎市 P T A 連絡協議会理事会（5/2）
		地域関係者		14人	川崎市地域教育ネットワーク推進会議（8/7）
		社会教育関係者		13人	川崎市社会教育委員会議（9/11）
合計				1,744人	—

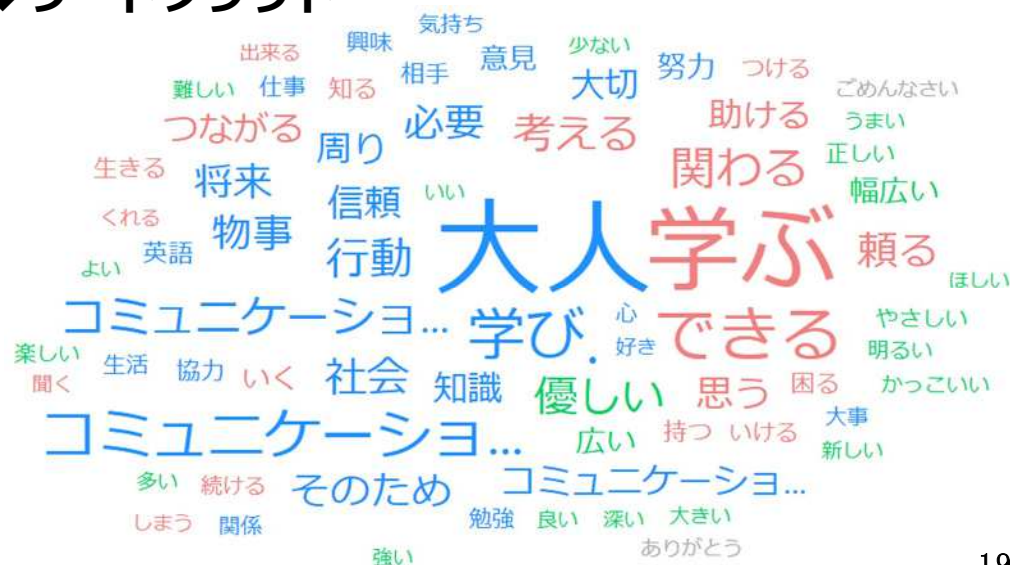
3 ワークショップ等

① 児童生徒

まとめ

- ✓ 児童生徒からは、周りを見て行動する、自分にできることを考え行動できるなど、**行動できる力**を身に付けたいとの意見が多く出された。
- ✓ また、人を助ける、社会に貢献する、社会のルールを理解するなど**社会で役立つ大人**になることを望んでいる意見も目立った。
- ✓ さらに、他の人を大切にできる、家族を大切にできる、みんなに信頼されるなど、**周りの人を大切にする大人**という意見も目立ち、併せて、友達や家族に**優しい大人**という意見も目立った。
- ✓ ワード分析でみられる「**コミュニケーション**」というワードは、コミュニケーション力が高いと、相手を安心させることができることや、チームが団結するためにコミュニケーション力をつける、誰に対しても関係なく優しくできるためにコミュニケーション力をつけるという具体的な行動に対するワードとして出ている。

◆ワードクラウド



◆多く出された言葉

①行動	1 2 5 件
②周り	1 0 6 件
③コミュニケーション	1 0 0 件
④勉強・授業・学習	9 5 件
⑤将来・未来	8 1 件

3 ワークショップ等

①児童生徒

1 小学校での主な意見

自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？

- ・ 思いやりが持てて、頼られる大人になりたい。そのためには相手のことを考えて、自分から何か始める力、自ら進んで挑戦できる力が必要。
- ・ 自分の仕事を全うできるような大人になりたい。そのためにはまわりにいる人と協力して活動することが大切だと思う。
- ・ 口だけでなく行動に移せる力と大人になりたい。
- ・ みんなに優しく接する人。みんなに優しく接することで笑顔が増えるから。
- ・ 優しく思いやりがある人。思いやりと意外と難しいから、その難しい事をできるようにしたい。
- ・ 夢を追い続けるような大人。そのためには、あきらめない力、努力、行動力が必要。
- ・ 自分で川崎を作って、たくさんの幸せをさらに増やすことのできる大人。



2 中学校での主な意見

自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？

- ・ 誰かのためになることがあたりまえにできる人。道とくなどの親切な人のことを学びたい。
- ・ 自分の得意なことを活かして世界で活躍できる大人になりたい。世界に行くために自己表現する、自分の世界を表現できる力を身につけたい。
- ・ まともな大人になりたい、礼儀とかがちゃんと身に付いてあるようにしたい。

自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どんな学びをしていきたいか？

- ・ 英語や漢字を勉強して何かを知っていても、知っていて使えなかったら意味がないから、その意味や使い方を理解して活用できるようになれるような学び。
- ・ コミュニケーション能力を育てる。将来人と関わっていくうえで、コミュニケーションを取っていくことは、社会で生きていくうえで必須になっていく。
- ・ ビジネスに関すること、生活する上で注意すべきこと（税金とか）、お金の使い方。



3 ワークショップ等

①児童生徒

3 高等学校での主な意見

自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？

- ・ 社会に貢献できるような大人。挑戦しないと社会には貢献できないから、何事にも挑戦する力が必要。
- ・ 人に夢、目標を与えられるような大人になりたい。そのためには、考えていること、思っていることを言葉としてきちんと表現する力や相手を想った発言、行動する力が必要。
- ・ 多くの課題を抱える日本の社会に大きく貢献できる人。世界的にビックデータや情報が重要視されており、情報戦争という言葉が溢れているように多くのデータを扱える人が重要になってくると考える。

4 特別支援学校での主な意見

川崎市の教育に期待することは？

- ・ 働くための知識をより多く取り入れることと、法的なことをもう少し教えてほしいです。勇気がたくさんある大人
- ・ 思いやり、尊重をこれからもあるようにこれからもみんなにも与えてくれると期待しています。
- ・ この先の子供が明るく希望をもって豊かに暮らせて偏見や差別がなく非行に走らないでいられる世の中
- ・ グレーゾーンに生きやすい制度を導入してほしい。



田島支援学校

5 川崎市子ども会議での主な意見

自分のこれからの人生や将来を考えたとき、どのような大人になりたいか？そのためには、どんな力が必要か？

- ・ 高齢者や障がいをもっている人に優しくできる大人
- ・ 自分の特技を生かして誰かを幸せにできる人
- ・ 人を勇気づけたり笑顔にできる大人になりたいです。
- ・ 学校の総合的な時間のときに周りの人や地域の人気持ちとか考える時間を作る。
- ・ 自分の好きなことをとことん楽しむ、楽しめる大人になりたい。
- ・ 政治の仕組みについて学校でもより深く学習する。



川崎市子ども会議

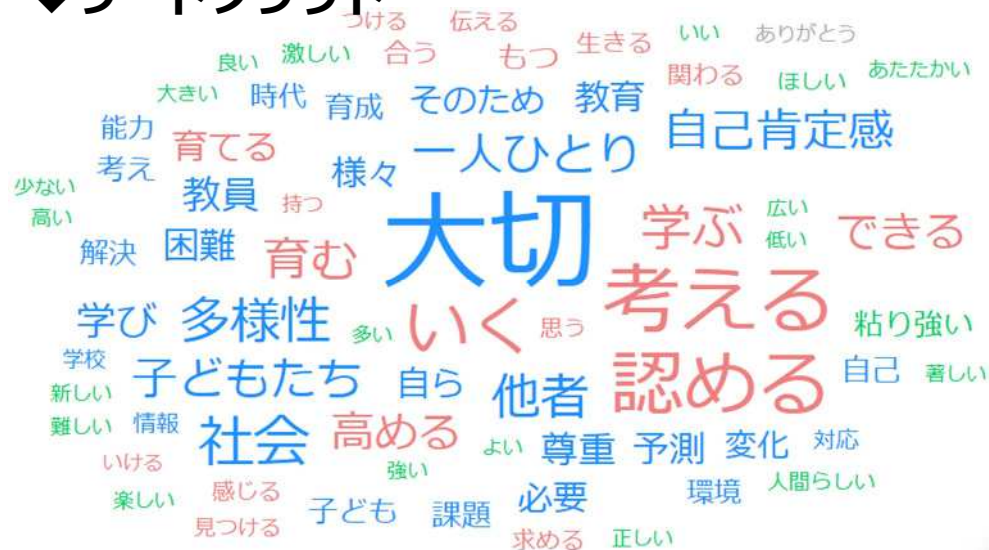
3 ワークショップ等

②教職員

まとめ

- ✓ 教職員からは、これからの子どもたちに対し、**他者を尊重することや他者と協働すること**など、他者との関わりの中で、自分らしさを発揮することを大切にしてほしいという意見が多く出された。特に、**多様性を認めること**を重要と考えている意見が多く出された。
- ✓ また、教職員の多くから、変化が激しく、予測困難な時代・社会だからこそ、**粘り強く考え、取り組む力**を大切にするとともに、困難な状況に直面しても立ち直る**レジリエンス**を身に付けてほしいという意見も目立った。
- ✓ さらに、情報過多であったり、欲しい情報をすぐに手にいれられる世の中であるがゆえに、**正しい知識や正しい情報を取捨選択できる力**を身に付けてほしいという意見も目立った。
- ✓ ワード分析でみられる「**大切**」というワードは、自分を大切にするという意味と、相手を大切にするという両面の要素が含まれており、**自分も相手も大切に尊重してほしい**と読み取れる内容になっている。

◆ワードクラウド



◆多く出された言葉

①様々・変化	149件
②時代	102件
③課題	83件
④多様性	83件
⑤解決	80件

3 ワークショップ等

②教職員

教職員の主な意見

本市の今後の教育で大切にしたいことは？

- 子ども一人ひとりの学び方を尊重した授業づくりをしていきたい。
- 個生の尊重を大切にしながら、一人ひとりが認められる教育活動
- 予測困難な時代の中で絶対に揺るがないものは「自分」
- 予測困難な社会になるからこそ自分で学ぶことを大切にしたい。
- 自分のことも認め、他人のことも認められる環境にしたい。
- 自分で考え、決める、行動することが大切になると考える。
- 様々な不安なことがあっても自信をもてるよう、自己肯定感を高める。
- 情報の取捨選択して自身の課題や必要な知識を身に付ける。



3 ワークショップ等

③社会教育関係者

まとめ

- ✓ 社会教育関係者からは、これからの子どもたちに対し、**自分の意見を持ち、伝えられること**、また、**相手の意見も理解すること**を重要と考えている意見が多く出された。
- ✓ また、社会教育関係者の多くから、**他者に優しい人**、特に、子ども、高齢者、障害者にやさしい人になってほしいという意見が出された。
- ✓ さらに、様々な物事にあきらめない**忍耐力**や色々なことに、たくさん**チャレンジ**してほしいという意見も目立った。
- ✓ ワード分析でみられる「**大人**」というワードは、大人の姿をみせる、チャレンジする大人、生き抜く力をもった大人など、**大人自らが様々な姿をみせることの大切さ**が読み取れる内容になっていることが分かった。

◆ワードクラウド



◆多く出された言葉

①学習・授業・勉強	29件
②優しい・思いやり	15件
③地域	13件
④将来・未来	9件
⑤気持ち	9件

3 ワークショップ等

③社会教育関係者

1 川崎市PTA連絡協議会理事会での主な意見

どのような資質・能力を持った子どもを育てたいか？学校の教育活動で大切にしてほしいこと、大切にしたいことは何か？

- いろいろな体験のできる学び
- 親も学校も子どもも支えの必要な人や場合について知る。
- 他者との比較でなく、個性の自覚などで自分の存在を認識できるようになる教育
- 教育活動は学校内でだけでなく、地域や専門分野と行う。
- 他の子と比べず、自分の持っている個性に自信を持ってほしい。
- 先生から教わるのではなく、自分が教える、友達から教わる。
- 子どもの好きな事、好きな物のその先を見通せる力、想像力
- 川崎で教育を受けて良かったと思える教育



2 川崎市地域教育ネットワーク推進会議での主な意見

子どもたちに将来どんな大人になってほしいか？そのために必要なこと、地域や大人ができることは何か？

- 価値感を認め合う多様性の世界に向け、大人があいさつや学習面で手本を見せる。
- 自分の思いと願いをもち、目標に向かって行動していける子
- 寺子屋の充実
- 相手の気持ちも考えて行動することができる子、思いやり
- 大人が様々な事にいどむ姿を見せる。大人がチャレンジする。
- 「ありがとう」と「たすけて」が言える。
- きちんとあいさつのできる子
- 困難にあたってもくじけずに立ち向かえる



3 ワークショップ等

③社会教育関係者

3 川崎市社会教育委員会議での主な意見

「人生100年時代」において、市民が、学校以外でどのように学び、活動していくことが必要だと思うか？

- ウェルビーイングや自己肯定感を高める教育を推進する
 - ・ 一人ひとりが自己肯定感を高め前向きにチャレンジできるようになるという観点を重視する
 - ・ 一人ひとりが他者と対等な立場で協力できるようになるという観点を重視する
 - ・ 一人ひとりが自立（自律）し自らが掲げた目的達成のために努力するようになるという観点を重視する
 - ・ 一人ひとりが、年齢に関係なくチャレンジし、生涯学び続けることが重要という観点を重視する
- 誰一人取り残さない教育を推進する
 - ・ 差別や偏見を克服し、高齢者や障がい者、外国人などを含めてすべての人の学ぶ権利を保障する
 - ・ 「他人の困りごとを自分ごととしてとらえる」ことをとおして、すべての人がともに生きられる社会を目指す
 - ・ すべての人が、高度情報通信ネットワーク社会を生きる知恵とスキルを身につける
- 元気で持続的なコミュニティを創出する
 - ・ すべての子どもが夢を持ち自由でのびのびと生活できるような「子どもファースト社会」を目指す
 - ・ 子どもが人権の大切さを理解し、人権意識を育くむことのできる学校や地域社会を目指す
 - ・ 地域の行事や社会教育の活動をとおして、市民による「つながり」「学び合い」「助け合い」の拡充を図る
 - ・ 地域と学校との協働をとおして、子どもの豊かな成長と市民同士の学び合いを推進する
- 人生100年時代を支える社会的基盤を整備する
 - ・ 格差や貧困を是正し、学び直しを含めて持続的で多様な学びを実践できるような環境を創る
 - ・ 市民一人ひとりのニーズなどが多様化していることから、社会教育や福祉の専門職員等による「人に寄り添う行政」を推進する



まとめ

- 児童生徒からは、将来の自分の大人像として、周りを見て行動し、自分にできることを考えて行動できる力を身に付けたいという意見が多く出された。また、社会で役立つ大人になるや、友達や家族に優しい大人になりたいという意見も多くみられた。
- 教職員からは、これからの子どもたちに対し、他者を尊重し協働する中で自分らしさを発揮することを大切にしてほしいという願いがみられた。また、粘り強く取り組む力やレジリエンス、情報リテラシーを身に付けることの大切さについての意見も目立った。
- 社会教育関係者からは、これからの子どもたちに対し、自分の意見を持ち伝えること、相手の意見を理解することを重要と考えている意見が多く出された。また、他者に優しい人になってほしいという意見やあきらめない忍耐力や、多くのことに挑戦してほしいという意見も目立った。
- 全体として共通していた意見としては、コミュニケーション能力が挙げられる。他者を理解する力や人間関係を構築していく力は、全てのステークホルダーで求められている。

1 概要

2 アンケート（速報）

3 ワークショップ等（速報）

4 基本理念・基本目標の検討に向けた
今後の方向性

4 基本理念・基本目標の検討に向けた今後の方向性

(1) 次期教育プランにおける基本理念・基本目標の考え方

意見を伺う中で、今後の本市の教育においては、**市民一人ひとりが“学びの主役”であり、“学びの主体”となることが重要**であることが明らかになった。

＜主な意見＞

- ・「教わるより、学びの主体者として知識を活用する時代」と考える。（教職員の意見より）
- ・一人ひとりが自立（自律）し自らが掲げた目的達成のために努力するようになるという観点を重視（社会教育委員の意見より）



- その実現に向けては、**市民一人ひとりが“自分事”**として、自らの学びについて捉え直すことが重要
- 次期教育プランにおいては、施策の実施主体である行政と、学びの実施主体である**全ての市民が、本市の教育を共に作り上げていくパートナー**として手を取り合いながら同じ方向に向かうことができるような仕掛けが必要
- 次期教育プランの「**基本理念・基本目標**」では、今後の本市の教育がめざす姿を**全ての市民が共有できるよう、メッセージ性のある形でまとめる**ことも検討

4 基本理念・基本目標の検討に向けた今後の方向性

(2) 次期教育プランにおける基本理念・基本目標に加味すべき価値観

- アンケートの結果から、現行の教育プランの基本理念（「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」）及び基本目標（「自主・自立」「共生・協働」）につながる価値観が広く共有されており、今後の本市の教育においても必要と考えられていることが確認できた。
- 一方で、ワークショップ等では、これまでの基本理念・基本目標につながる価値観の他に、コミュニケーション力や行動力、レジリエンスなど、新たな価値観や考え方についても、今後、必要と考えられていることが確認できた。



次期教育プランにおいては、現行プランの基本理念・基本目標の方向性は継承しながら、今日的な新たな価値観や考え方も加味し、全ての市民にとって、より伝わりやすいものとし、今後の本市の教育が目指すものとする。

4 基本理念・基本目標の検討に向けた今後の方向性

(3) 次期教育プランにおける基本理念・基本目標のイメージ

現在の基本理念・基本目標

基本理念	夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く
基本目標	自主・自立／共生・協働

今後も目指すべき方向性であることを確認



次期教育プランにおいては、現在の基本理念・基本目標の方向性を継承しつつ、新たな価値観や考え方を加味



全ての市民が共有できるよう、メッセージ性のある形でまとめることも検討

ワークショップ等で確認できた価値観や考え方

コミュニケーション力

行動力

レジリエンス

情報
リテラシー

チャレンジ

...

今日的な新たな価値観や考え方が求められていることを確認
→次期教育プランで大切にすべきものは何か？

4 基本理念・基本目標の検討に向けた今後の方向性

参考 加賀市の学校教育ビジョン

Be the Player

自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える

加賀市 学校教育ビジョン

【スローガン】

参考 渋谷区の教育大綱

つくろう。

ちがいを活かし合える、

未来の学校。

一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じる。
私たちが未来に向けて、いちばん大事にすることです。

自ら学ぶ力は、一人ひとりちがいます。
一人ひとりちがう、学ぶペース。
一人ひとりちがう、興味の手行き先。
一人ひとりちがう、チームでの役割。

そんな子どもたちの力を信じて、
先生たちが応援し、並んで走る。
子どもたち、先生たち、地域が、一緒になってつくりあげる。
それが、私たちが考える未来の学校です。

キソは、キソわず、しっかり身につける。
そのあとも、一人ひとりのペースと興味の手行き先次第。

自分にはないモノの手行き方、自分にはない力を、
教え合って、補い合って、学び合う。
そう、ちがいがあるから、チームの中で活かし合える。
先生だって、子どもと一緒に、学ぶことにワクワクしよう。

使う道具にも、決まりなんてない。
校舎だけでなく、毎日に、この世界のあちこちに、
ちりばめられているヒント。
自由に見つけて、おもしろがろう。
家族や地域の人たちとも、一緒に学ぶ仲間になりたい。

さあ、つくろう。探究しよう。挑戦しよう。
自ら学ぶ力を信じた時。
一人ひとりの心の中で、未来の学校が始まります。

家庭教育支援の取組について

川崎市社会教育委員会議（令和 6 年 1 1 月 2 8 日）

1 家庭教育とは

生涯学習

教育基本法第3条においては、「生涯学習の理念」として、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されている。

**教育領域
(教育基本法)**

**学校・家庭及び
地域住民等の
相互の連携協力
(第13条)**

家庭教育
(第10条)

学校教育
(第6条)

社会教育
(第12条)

文化活動

レクリエーション
活動

ボランティア
活動

企業内教育

趣味

1 家庭教育とは

(1) 法的な位置付け

●教育基本法（平成18年法律第120号）

（家庭教育）

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

（幼児期の教育）

第11条 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他の適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

●社会教育法（昭和24年法律第207号）

（国及び地方公共団体の任務）

第3条3 国及び地方公共団体は、第1項の任務を行うに当たっては、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

（市町村の教育委員会の事務）

第5条 市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、次の事務を行う。

七 家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設及び集会の開催並びに家庭教育に関する情報の提供並びにこれらの奨励に関すること。

1 家庭教育とは

(2) 家庭教育に関する法改正等

- 2001（平成13）年 社会教育法改正
家庭教育に関する学習機会の充実等（第5条第7号関係）
家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、「家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設及び集会の開催並びにこれらの奨励に関すること」を教育委員会の事務として規定
- 2006（平成18）年12月 教育基本法改正
家庭教育の規定の新設（第10条）
- 2008年（平成20年）6月 社会教育法改正
教育基本法の改正を踏まえた規定の整備等（第3条及び第5条関係）
家庭教育に関する情報の提供について、教育委員会の事務に関する規定を改正

(3) 国における「家庭教育」の位置づけ

家庭教育は、親や、これに準ずる人が子どもに対して行う教育のことで、すべての教育の出発点であり、家庭は常に子どもの心の拠り所となるものです。乳幼児期からの親子の愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担うものです。

さらに、人生を自ら切り拓いていく上で欠くことのできない職業観、人生観、創造力、企画力といったものも家庭教育の基礎の上に培われるものです。

「『社会の宝』として子どもを育てよう！（報告）」今後の家庭教育支援の充実についての懇談会（平成14年7月）より

2 本市の家庭教育施策の位置付け

●第2次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン 第3期実施計画
(令和4年～令和7年)

基本理念

夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く

基本目標

自主・自立 共生・協働

基本政策

VI 家庭・地域の教育力を高める

政策目標

各家庭における教育の支援や、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりを通じて、家庭・地域の教育力の向上を図る

主な事務事業

- ・ 家庭教育支援事業
- ・ 地域における教育活動の推進事業
- ・ 地域の寺子屋事業

2 本市の家庭教育施策の位置付け

●川崎市総合計画 第3期実施計画 (令和4年～令和7年)

基本政策(1層)

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

政策(2層)

生涯を通じて学び成長する

施策(3層)

家庭・地域の教育力の向上

直接目標

大人と子どもなど、地域での多世代の交流を増やすとともに、
家庭教育の悩みを軽減する

主な事務事業

- ・ 家庭教育支援事業
- ・ 地域における教育活動の推進事業
- ・ 地域の寺子屋事業

3 家庭教育の現状と課題

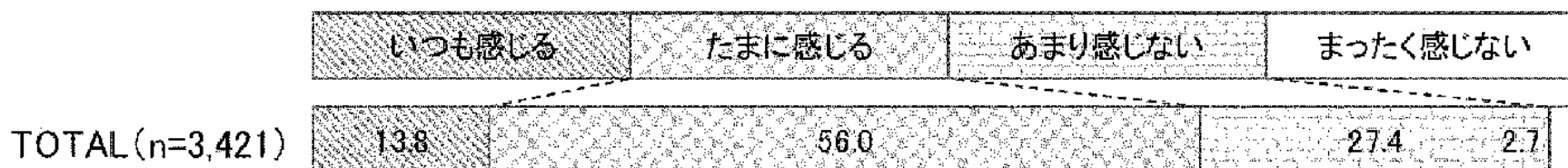
国の現状と課題

- 子どもの学びや育ちを家庭を含めた社会全体で支援することが求められています。
- 約7割の保護者が子育てに悩みや不安を抱えています。
- 地域において子育ての悩みを相談できる人がいる保護者は約3割となっています。

文部科学省 「家庭教育支援関係予算について（令和6年度予算）
『地域における家庭教育支援基盤構築事業』」より

<子育てについての悩みや不安の程度>

(%)



子育てについての悩みや不安の程度は「感じる（「いつも感じる」と「たまに感じる」の合計）」が69.8%となっている。

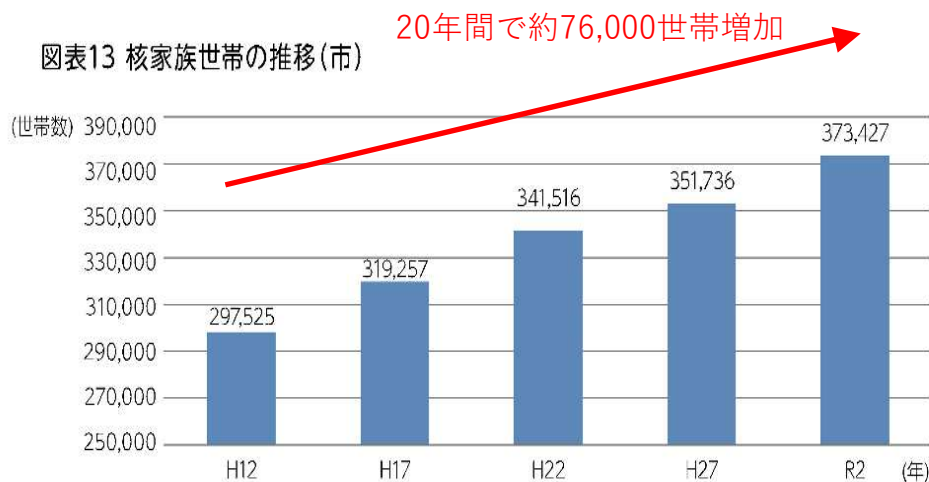
令和2年度文部科学省委託調査
「家庭教育の総合的推進に関する調査研究
～家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査～」より

3 家庭教育の現状と課題

川崎市の現状と課題

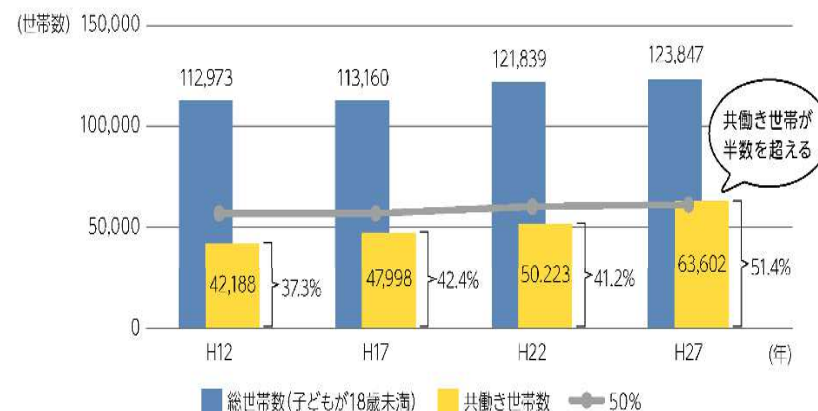
- 核家族化の進行や、働き方の多様化、地域のつながりの変化等により、子育てに悩みや不安を抱える家庭があることを踏まえ、地域社会全体で子育て家庭を支えながら、家庭教育の推進を図るしくみづくりが必要となっています。
- 本市では、子どもが18歳未満の世帯に占める共働き世帯の割合が51.4%となっています。全国的にも共働き世帯は年々増加傾向にあるとともに、核家族世帯も増加しており、今後、家庭の教育を支える地域の力がますます重要になってきます。また、子どもたちが地域で安全・安心に育つことができるよう、子どもと地域のつながりを拡充していくことが重要です。
- 身近な学びの施設である市民館では、家庭教育に関する学級・講座の開催をはじめ、PTAが開催している家庭教育学級の支援、企業等との連携による家庭教育事業などを実施しており、今後も地域において家庭教育を支援する取組が求められています。

図表13 核家族世帯の推移(市)



資料:国勢調査

図表14 総世帯数(子どもが18歳未満)と共働き世帯の推移と割合(市)



資料:国勢調査

4 国における家庭教育支援

文部科学省「地域における家庭教育支援基盤構築事業」

(1) 事業内容

①地域の実情に応じた家庭教育支援の促進

地域において人材の発掘・リーダー養成等により、家庭教育支援チームを組織化し、保護者への学習機会や情報の提供等を実施する。

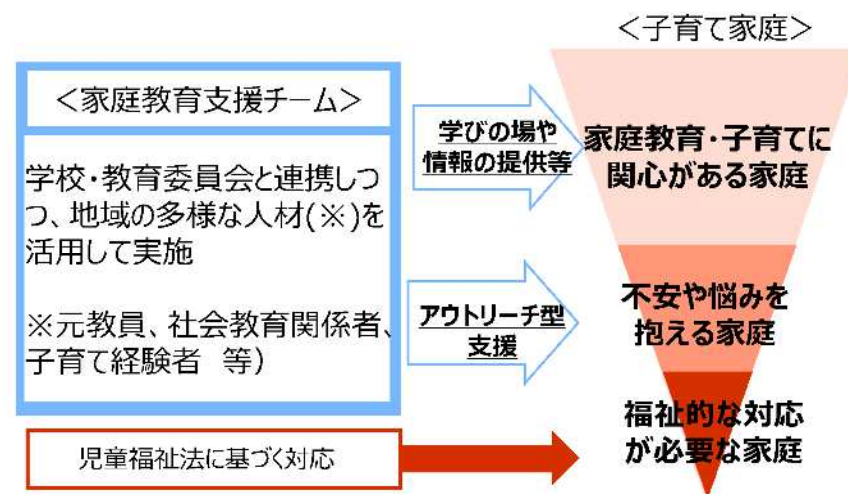
(R6目標：1,000チーム)

②個別の支援が必要な家庭への対応強化

①に加えて、特に個別に支援が必要な家庭に対し、地域から孤立しないよう、専門人材も活用し、個々の状況に寄り添いながら、次の2点を実施する。

- ・相談対応や情報提供を実施
- ・地域人材の資質向上のための研修の実施

(R6目標：100チーム)



文部科学省 「家庭教育支援関係予算について（令和6年度予算案）
『地域における家庭教育支援基盤構築事業』」より

●「家庭教育支援チーム」登録制度で登録したチーム：454 チーム（R6.10.24現在）

地方別	チーム数	関東地方内訳	チーム数	備考
北海道地方	18	茨城県	39	
東海地方	44	栃木県	12	
関東地方	107	群馬県	15	
中部地方	79	埼玉県	13	内指定都市2チーム
近畿地方	57	千葉県	11	内指定都市3チーム
中国・四国地方	90	東京都	12	内23区8チーム
九州・沖縄地方	59	神奈川県	5	内指定都市3チーム

4 国における家庭教育支援

【神奈川県内家庭教育支援チームの事例紹介】

ホームページ「子どもたちの未来をはぐくむ家庭教育」家庭教育支援チーム一覧より抜粋

	横浜市	相模原市	相模原市	三浦市	横須賀市
チーム名	ふわRIN子育て	ふわRIN♪子育て	オールウェイズ中央っ子	はっぴー子育て応援団	ふわRIN子育て
活動範囲	横浜市内全域	相模原市全域	中央公民館区内	三浦市全域	横須賀市内全域
組織体制	17人	23人	6人	19人	18人
	子育てサポーター8人 相談士 9人	子育てサポーター 5人 生活倫理相談士 9人 元・現役教員 7人 元・現役保育士 2人	子育てサポーター 3人 民生・児童委員 1人 主任児童委員 1人 放課後児童支援員 1人	元校長 1人 幼稚園・保育園長 2人 保育士 3人 看護師 1人 市議会議員 1人 託児スタッフ 8人 ファシリテーター 3人	子育てサポーター10人 生活倫理相談士 8人
活動開始年度	令和元年度	平成24年度	令和2年度	平成23年度	平成9年度
活動内容	・ふわRIN子育てセミナー（奇数月はオンラインセミナー、偶数月は対面型のセミナー）を開催します。保護者を対象に、子どもとの関わり方や夫婦・親子間の悩み等について学び合います。	・ふわRIN♪子育てセミナーを月1回開催します。子育てに関するテーマについて講師の話を聞き、参加者同士で話し合います。 ・小学生向けの「子供倫理塾」を隔月で開催し、「遊び、学び、しつけ」をベースにテーマを決めて、楽しみながら学びます。	・公民館で開催する「家庭教育支援講座」について、公民館担当者と企画・運営を行います。 ・年に数回「しゃべり場」を開催し、保護者同士で悩みを聞き合い、専門家を交えながら交流を図ります。 ・小学校と連携して、週に1回、放課後に公民館の1室を子どもの居場所として開放します。	・子育て中の父母等を対象にした子育て支援講座を開催します。 ・月1回開催している「ママcafé」は、日常からの解放により、育児の負担感、不安を和らげることを目的としている。 ・地元農家と協力した、家族の野菜の収穫体験を行う。 ・料理教室を開催し、料理を通して、食育の推進や親としての自己肯定感のアップを図ります。	・ふわRIN子育てセミナーを月1回開催します。子育てに関するテーマについて講師の話を聞き、参加者同士で話し合います。 ・子供倫理塾を開催します。「遊び・学び・しつけ」を三本柱に、子どもたちが楽しめるテーマで年に数回開催しています。

4 国における家庭教育支援

文部科学省「家庭教育支援推進事業～効果的な支援方策の調査検討・普及啓発～」

(1) 家庭教育支援推進のための検討委員会の開催

【直近の検討会議の開催】

- 平成28年度 家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会
- 平成27年度 家庭教育支援手法に関する検討委員会
- 平成26年度 中高生を中心とした子供の生活習慣が心身へ与える景況当に関する検討委員会
- 平成25年度 中高生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討委員会
家庭教育視線チームのあり方に関する検討委員会

平成28年度 検討委員会委員構成

委員構成	人数
NPO法人・一般社団法人	3
全国民生委員児童委員連合会	1
家庭教育支援員	1
学識者	4
行政（山口県、釧路市、湯浅町）	3
計	12

(2) 家庭教育支援推進のための調査研究の実施

【直近の調査研究の報告書】

- 令和5年度 家庭教育についての保護者へのアンケート調査について（参考資料参照）
- 令和5年度 民間による家庭教育支援について
- 令和4年度 家庭教育支援システム構築事業について
- 令和4年度 民間による家庭教育支援について
- 令和3年度 『家庭教育』に関する国民の意識調査について

(3) 全国家庭教育支援研究協議会の開催

【実施テーマ】

- 令和5年度 社会教育の裾野の広がり和社会教育人材が果たすべき役割
（社会教育推進フォーラムとして開催）
- 令和4年度 保護者に寄り添う家庭教育支援に向けた連携について
- 令和3年度 地域資源との連携による家庭教育支援の充実
- 令和2年度 地域の実情に応じたアウトリーチ型支援の充実に向けて



令和4年度全国家庭教育支援研究協議会チラシ

5 本市の家庭教育支援事業の取組

(1) 市民館等における家庭・地域教育学級等、家庭教育に関する学習機会の提供

●内容

家庭・地域教育学級は、子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、**子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、家庭教育の充実を目指す学級**です。子育てに関する悩みや不安の解消・軽減につながるような学習内容を設定するほか、地域でともに子育てする仲間をつくることや、地域全体で子育て家庭を支えていくという視点を持ち、**市民館で学級を開催しています。**

【令和5年度家庭・地域教育学級一覧】（参考資料参照）

No	実施館	学級名	学級ごとの回数	対象
1	教文	はじめての子育て	5	生後4か月から8か月の子と保護者
2	教文	親子で絵本を楽しもう～0歳からの絵本選び～	1	「はじめての子育て」受講者または生後4か月から11か月の子と保護者
3	大師	輝く明日へ！ありがとう	5	生後6か月から就学前の第1子と保護者
4	大師	夏休みこどもイベント	1	未就学の子と親
5	田島	ココロもカラダもHAPPY育自	5	概ね1歳から3歳の子と親
6	幸	遊びって大切♪～	5	2歳半から3歳半の子と親、関心のある方
7	幸	わが子に寄り添い“最強”の味方になるコミュニケーション講座	3	子育て中の保護者や支援者の方、関心のある方
8	日吉	ゆめみ☆学級	9	未就園の子と親
9	中原	子どもの「わくわく」をみんなで見守ろう！	1	中原区周辺に在住・在学の小学1年生以上の子と保護者
10	中原	家族でわはは	10	3歳以下の子を持つ保護者
11	中原	ウェル・ビーイング・ママ	1	関心のある方
12	高津	はじめての赤ちゃんのいる暮らし	5	初回時点で第1子が3か月から1歳未満の子と保護者
13	高津	これから反抗期を迎えるわが子のために	5	主に小学生の子を持つ親、関心のある方
14	橘	0歳からの子育て	5	橘地区及びその近隣在住のおよそ1歳までの子と保護者
15	橘	親子で観て！学んで！楽しむ！マジックショー	1	橘地区及びその近隣在住の小学生と保護者
16	宮前	宮前親子学級	14	およそ1歳から4歳半までの第1子と保護者
17	菅生	赤ちゃん期の今だからできること。きいてみよう！やってみよう！	8	およそ生後7か月から1歳7か月までの第1子と保護者
18	多摩	子育て講座～0歳児と楽しく過ごそう～	5	初回時点で0歳の子と保護者
19	多摩	子育て講座～子どもと一緒に親も育つ（小学校に上がる前に編）	5	未就学または小学生の子を持つ親
20	麻生	初めてママのHAPPY！ママライフ	10	およそ生後3か月から8か月までの第1子と保護者
21	岡上	ともぞだち～子育ての、ちょっと先を見通そう！	5	0歳から2歳の子を持つ親

12

5 本市の家庭教育支援事業の取組

●実績

教文・市民館・分館13館において、年1回以上、家庭・地域教育学級を開催するという目標に対し、過去6年間、目標を上回る回数を開催しており、コロナ禍の影響が大きかった令和2年度～3年度にかけても、安定して開催することができました。

実施状況		H30	R1	R2	R3	R4	R5
家庭・地域教育学級数 (単位：回)	目標	13	13	13	13	13	13
	実績	24	23	19	23	21	21
家庭・地域教育学級の参加者数 (延べ人数)	実績	2,043	2,027	999	1,251	1,161	1,355

例年の傾向として、特に乳幼児の子育て中の保護者を対象に、**育児の不安やストレスの軽減等を図るとともに、地域で支え合う仲間づくりを目指す学級**を多く開催しています。

また、親子で一緒に参加できるイベントを通して親子のコミュニケーションを図る学級や、学齢に応じた学習テーマを設定した学級も開催しています。

市民館における家庭教育に関する事業では、全市一律ではなく各区の事情に応じて、行政（各区の地域みまもり支援センターなど）との連携や、地域の団体・グループ等（保育ボランティアグループなど）の参画を図ることにより、**参加者が子育てに関する学びだけでなく、身近な地域の団体・グループと知り合う機会となり、地域でのつながりづくり**につながっています。



家庭・地域教育学級の様子

5 本市の家庭教育支援事業の取組

(2) P T Aによる家庭教育学級開催の支援

●内容

子どもの理解、親の役割、家庭環境及び家庭教育に関する地域における諸課題等について **P T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援**を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた、学校、家庭及び地域の連携による学習活動の振興を図ります。

< P T Aによる家庭教育学級の学習テーマや内容の一例 >

(1) 子どもの心身の成長の理解に関すること

例) 子どもの成長と生活習慣、遊びや友達の意味、食生活、学習、こづかい、テレビやゲームと子ども、性教育など

(2) 子どもの居場所、子どもの意見、安全、虐待、体罰、いじめなど、子どもの人権に関すること

例) 子どもの思いを知る、子と親の対話、学校での人権教育の取り組み、保健室からの報告、川崎市子どもの権利に関する条例など

(3) 家庭の役割と親子関係、親や地域の大人たちがなすべきこと

例) 子どもを育てる地域の環境、親の生き方・子どもの生き方、子育てにおける父親の役割など

(4) 川崎市外国人教育基本方針～多文化共生の社会をめざして～に基づいて、日本人と外国人がともに手をつたずさえて地域社会の創造をめざす、家庭教育に関する学習や活動

主なテーマ分類	子どもの心身の成長の理解	子どもの人権に関すること	家庭地域の役割、親子関係	多文化共生に関すること	その他
単位 P T Aによる家庭教育学級の主なテーマごとの開催数 (令和5年度実績108校の内訳)	34	5	49	0	20

14

5 本市の家庭教育支援事業の取組

●実績

コロナ禍の影響が大きかった令和2年度～3年度にかけて、開催校が減少しましたが、徐々に回復傾向にあります。一度開催が止まってしまった中でも、市民館では、P T Aに対して学級開催に向けた丁寧な支援（P T A担当者向けの説明会開催、学習テーマや講師選定などに対する助言等）を続けてきました。また、P T Aにおいても、オンラインを活用したハイブリッド形式や、講演の様子を撮影して後日Y o u T u b eに限定公開するなど、工夫を凝らして開催していただいています。

テーマについては、助産師を講師に迎えた性教育・いのちの学習、親子コミュニケーションに関するもの、子どもたち一人ひとりの個性を知る学習、子どもが様々な暴力から自分の心と身体を守る暴力防止のための予防教育プログラム（C A Pプログラム）の大人向け学習など、多様な学習テーマを、各P T Aにおいて設定していただいています。

実施状況		H30	R1	R2	R3	R4	R5
P T A家庭教育学級開催数 (市・区単位開催を除く) (単位：校)	目標	163	163	163	163	163	163
	実績	163	163	54	85	111	108
P T A家庭教育学級の参加者数 (延べ人数)	実績	18,213	16,527	3,855	5,531	7,241	8,184

5 本市の家庭教育支援事業の取組

(3) 全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による関係者間の情報共有の推進

●内容

川崎市家庭教育推進連絡会は、子どもの健全な成長に係わっている学校、家庭及び地域の様々な団体等が、それぞれの活動や課題等を共有することで、**家庭教育支援の輪を広げ、団体等の活動の充実を図り、子どもたちの更なる成長につなげていくことを目的として開催する連絡会**です。また、市推進連絡会は、行政区ごとに区内の事業調整や意見交換を行うために、区家庭教育推進連絡会を設置します。

<市推進連絡会委員構成>

区分	団体・組織名
社会教育関係団体	川崎市PTA連絡協議会
	川崎市地域教育会議 行政区議長会
区推進連絡会	川崎区家庭教育推進連絡会
	幸区家庭教育推進連絡会
	中原区家庭教育推進連絡会
	高津区家庭教育推進連絡会
	宮前区家庭教育推進連絡会
	多摩区家庭教育推進連絡会
	麻生区家庭教育推進連絡会
学校教育関係	川崎市立小学校長会
	川崎市立中学校長会
	川崎市教職員組合
行政関係	教育委員会事務局学校教育部長
	教育委員会事務局生涯学習部長
	教育文化会館・市民館長会

<区推進連絡会委員構成>

区分	団体・組織名
社会教育関係団体	区PTA協議会
	行政区地域教育会議
学校教育関係	川崎市立小学校長会
行政関係	教育文化会館・市民館

5 本市の家庭教育支援事業の取組

●実績

市推進連絡会及び行政区7区で年に2回開催するという目標に対し、コロナ禍の影響で開催を見送った年度もありましたが、直近の令和5年度は目標通り開催することができ、家庭教育に関する好事例を横展開し、情報共有することができました。

実施状況		H30	R1	R2	R3	R4	R5
家庭教育推進連絡会の実施回数 (単位：回)	目標	16	16	16	16	16	16
	実績	16	11	10	11	12	16

年度の前半に各区で第1回区推進連絡会を開催した後に、市推進連絡会を開催します。第1回市推進連絡会では、家庭教育に関する当年度の事業計画を中心に、区推進連絡会で話し合われたことや、地域活動の様子、区独自の取組などについて情報共有します。

年度の後半の第2回市推進連絡会では、家庭教育に関する事業の実施報告を中心に行います。市民館事業・PTA家庭教育学級などの実施状況や、委員が所属する団体の活動、区内の小・中学校に通う子どもたちの様子などについて情報共有します。

市推進連絡会に、区推進連絡会の代表として出席される委員は、PTAに所属されている方が多く、**PTA家庭教育学級のテーマで好評だったもの、開催時に工夫していることなど好事例を共有**することができます。また、小学校長会・中学校長会選出の委員からは**学校での子どもたちの様子**や、社会教育関係団体から選出の委員からは**団体の活動に参加している子どもたちの様子**などをお話いただいています。これらの取組を通じて地域全体で家庭教育支援の輪を広げ、子どもたちの更なる成長につなげていきます。

5 本市の家庭教育支援事業の取組

(4) 企業や地域団体等と連携した取組の推進

●内容

市民館事業になかなか参加できない方々など、より多くの保護者が家庭教育について学ぶことができるように、多様な主体と連携して、家庭教育に関する気軽に参加しやすい学習機会を提供し、子どもを持つ親の、親として市民としての学びを支援しています。多様な主体として、企業や地域で活動する団体等と連携し、出前講座やオンライン講座の形式で家庭教育について学ぶ機会を設けています。

●実績

実績は横ばいであり、実施が伸び悩んでいることが課題です。ホームページへの掲載や、市民館等市内施設でのチラシの配架、川崎商工会議所のメールマガジンでの周知などを行いましたが、家庭教育支援講座（出前講座）そのものの幅広い広報が必要です。

年度	回数	実施企業等	内容
R5	1	コペルハウス川崎東口教室	・ アンガーマネジメントについて考える
R4	2	川崎市立中央支援学校親の会 百合丘こども文化センター	・ 障害者施設について学び、子どもたちの自立支援を考える ・ 子どもとのコミュニケーションのヒントについて学ぶ
R3	4	子育てグループ（プレイセンターかんがるー、きらきら星）、ゆりかご幼稚園、 コミュニティスペースみんなの森	・ アンガーマネジメントを学び、子どもとの接し方に活かす ・ インターネットに潜む危険性を知る ・ 親子でリトミックを実践する、家庭教育への理解を促す
R2	2	カワサキ・ミッドマークタワー管理組合 子育てグループきらきら星	・ 家庭教育とは何かを知り、家庭教育の重要性について考える ・ 音楽を通じた子どもとの接し方を知り、家庭教育について考える
R1	1	(株) 光陽電業社	・ 家庭教育とは何かを知り、家庭教育の重要性について考える
H30	2	(株) ヨネヤマ サギヌマスイミングクラブ	・ 家庭教育とは何かを知り、企業にとっての家庭教育の重要性を考える

5 本市の家庭教育支援事業の取組

(5) その他

①ホームページ等での広報

●家庭教育推進事業

本市で取組む家庭教育推進事業を紹介している。
各市民館・分館ホームページ（事業・講座の案内ページ）
へのリンクや、本市の子育てに関すること全般について
掲載したページのリンクを付けている。

●家庭教育支援講座（出前講座）

出前講座のプログラム例や申込について案内している。

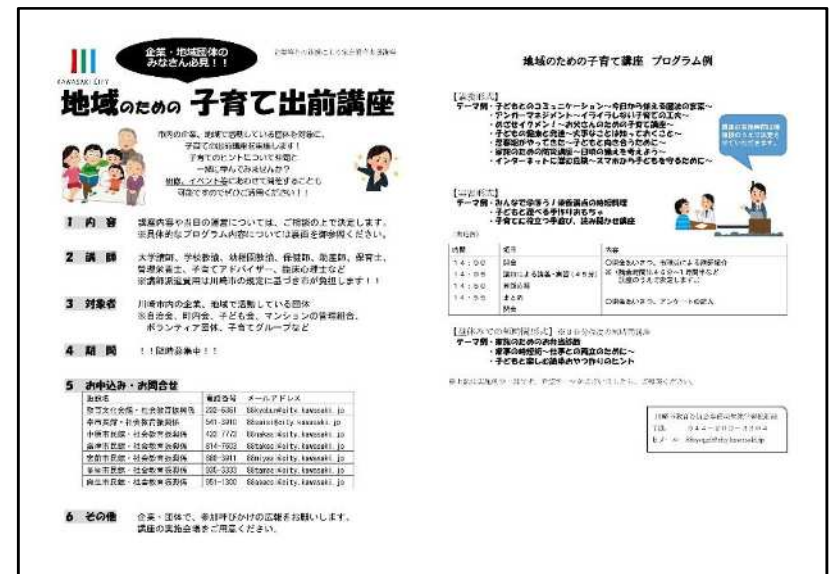
（家庭教育推進事業 実際のページ）



②チラシの配架

●家庭教育支援講座（出前講座）

市民館等市内施設でチラシの配架をしている。



（子育て出前講座チラシ）

6 他都市の家庭教育支援（神奈川県）

「家庭教育支援」取組状況調査の結果について（令和4年度現在）

項目	自治体名	事業名	所管部署	内容
1	横浜市	おやじの会親子ふれあい事業	教育委員会事務局学校教育企画部学校支援・地域連携課	○内容 おやじの会親子ふれあい事業運営委員会が、自然体験や親子学習会等の活動を行うことによって、親子のふれあいや父親の家庭教育参加を促す ○実施主体 その学校に通う保護者を中心となり組織した「おやじの会親子ふれあい事業運営委員会」 ○実施場所 学校もしくは近隣施設
2	横浜市	親の交流の場づくり事業	教育委員会事務局学校教育企画部学校支援・地域連携課	○内容 親子で参加する体験活動や、子育てについて学ぶ「講演会、学習会」などのイベントを通して、保護者同士、保護者と地域住民等が交流し、地域で気軽に話し合える関係づくりのきっかけを創出する ○実施主体 ①おやじの会、PTA又はそれに準ずる団体、②地域住民、③学校教職員が中心となり組織した「親の交流の場づくり事業運営委員会」 ○実施場所 学校もしくは近隣施設
3	川崎市	家庭・地域教育学級	教育委員会事務局生涯学習推進課	子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、家庭教育の充実をめざす事業として、各区生涯学習支援課の社会教育振興事業担当職員が企画立案し、市民館等で実施している。
4	川崎市	子育て支援啓発事業	教育委員会事務局生涯学習推進課	短期と長期の学級があり短期は2時間×5コマ以上、長期は2時間×1.0コマ以上の連続した学級となっており、保護者の学習だけでなく、保護者間のつながりづくりも目的としている。地域における身近な子育て関連情報を保護者等に届けるために、教育文化会館・各市民館・分館において、子どもと一緒に気軽に立ち寄れる広場等を開設することで、子育て情報の提供や保護者同士の交流を図る。
5	川崎市	PTA家庭教育学級講師派遣	教育委員会事務局生涯学習推進課	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等についてPTAが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動を促進する。
6	川崎市	企業等との連携による家庭教育支援講座	教育委員会事務局生涯学習推進課	核家族化や共働き世帯、ひとり親家庭の増加などの社会状況の変化により、市が社会教育施設等で実施する家庭教育支援に関わる講座を受講することが困難な市内の企業等と働く人たちや市民団体を対象に、求めに応じて、家庭教育に関わる講師の派遣や企業に直接出向く出前講座を実施する。
7	相模原市	市PTA連絡協議会委託事業	教育局生涯学習部生涯学習課	○内容 家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供することを目的とした事業を実施。事業形態は、講演会やパネルディスカッションなど様々。 ○従事者 市内97PTAが加盟する相模原市PTA連絡協議会への委託事業として実施。連絡協議会の11のブロック（市内のPTAを地域ごとに分けたブロック）において、各ブロックの担当PTA役員が、事業の企画から運営までを担う。 ○実施場所 主に小中学校の体育館、公民館など
8	相模原市	公民館委託事業	教育局生涯学習部生涯学習課	○内容 家庭教育の担い手である親の学習機会を充実するとともに、親子と地域のつながりをつくる取組みを推進するなかで、子どもの社会的自立と、親が子育てを通じて自らの人生を豊かにしていくことを目的とした事業を実施。事業形態は、ワークショップ、講座、体験型の講座など様々。 ○従事者 地域住民等により構成された実行委員会 ○実施場所 各公民館
9	相模原市	発達サポート講座	教育局生涯学習部生涯学習課	○内容 子ども発達に関して、保護者の不安や悩みを和らげるとともに、子どもを取り巻く大人の理解を深める機会とすることを目的とした事業を実施。事業形態は講演会形式。 ○従事者 事務局・教育局 生涯学習部 生涯学習課 講 師：星山 麻木 氏（明星大学教育学部教育学科教授）及び特別支援士3名 ○実施場所 市役所周辺施設
10	横須賀市	家庭学習啓発リーフレットの発行	学校教育部教育指導課	教学前の保護者対象と、小学生の保護者対象の「家庭学習啓発リーフレット」を作成している。前者は入学説明会で、後者は年度当初に配付している。
11	横須賀市	家庭教育講演会（委託事業）	教育委員会教育総務部生涯学習課	横須賀市PTA協議会に委託し、PTA会員に広く家庭教育の振興方策を考えてもらう一助とするため、家庭教育講演会を開催。そのほかにも、読書推進講演会、人権講演会を開催。
12	横須賀市	親子工作教室（委託事業）	教育委員会教育総務部生涯学習課	神奈川県一級労働組合横須賀三浦支部に委託し、小学校PTAを対象に実施。親子での簡単な木工工作の体験学習・共同作業を通して、親子のふれあいを深め、家庭教育の充実を支援する。
13	平塚市	家庭教育講演会	教育委員会社会教育部中央公民館	○日時 令和4年12月8日（木）18：30～20：00 ○会場 平塚市中央公民館 大ホール ○議題 子育てで深めよう！家族の絆を苦境に負けない “my sweet home”～ ○講師 木山 裕東 氏 ○参加費 449円
14	平塚市	家庭教育学級	平塚市教育委員会社会教育部中央公民館	核家族化や地域のつながりの希薄化等を要因とした家庭の教育力の低下が指摘され、教育基本法において家庭教育の重要性が謳われていることから、乳幼児や小中学生の親が相互の交流を図り、家庭教育の大切さを理解されるよう、子どもや親を取り巻く諸課題に関する講座を開催しています。 ○令和3年度実績…全7事業（25課） （親子工作教室、手作り習字講座等の星空間、家庭と一線にまつまじり体験等）
15	藤沢市	PTA等活動のための研修会	教育局教育総務課	○内容 PTA等活動に関する講義及びグループワークを4コース（本部、学年・学級、役員選出、広報）に分けて実施 ○従事者 教育総務課職員及び藤沢の子どものためにつながる会スタッフ ○実施場所 市役所会議室
16	藤沢市	乳幼児家庭教育学級	生涯学習部生涯学習総務課	○内容 未就学児の子育て中の保護者を対象に、学級形式により、子育てについての学習や子育ての悩みの共有を行い、保護者同士の交流や仲間づくりを支援する。 ○実施場所 公民館
17	藤沢市	保育園開放事業	生涯学習部生涯学習総務課	○内容 親子の交流と保護者同士の仲間づくりの場を提供する。 ○実施場所 公民館
18	藤沢市	子育て応援メッセ	生涯学習部生涯学習総務課	○内容 子育て情報発信や子育てサークル等の関連団体の紹介、様々な団体の協力によるイベントを実施し、保護者同士の交流の機会づくりや地域における子育てを支援する。 ○実施場所 公民館
19	小田原市	家庭教育学級事業	文化部生涯学習課	子育て期の保護者を対象に、PTA等で実施される学習会のほか、幼稚園や保育園、小中学校で行われる入園、入学前説明会の機会に、専門家を講師に招いた家庭教育学級や、市民を対象に家庭教育の重要性を啓発する家庭教育講演会を開催する。
20	小田原市	絵本の読み聞かせ	文化部図書館	子どもに読書の楽しさや喜びを知ってもらうため、毎週土・日曜日及び毎月第2火曜日に、読み聞かせ活動を行っているボランティアグループにより、中央図書館内「おはなしのへや」、「こどもクラブ室」において、絵本や紙芝居などの読み聞かせを実施している。
21	小田原市	ブックリストの作成・配布	文化部図書館	小学生向けのおすすめ本のリストを、4月（子どもの読書週間）（4月は低学年向け）、7月（夏休み期間）、10月（読書週間）に、中高生向けには、7月（夏休み期間）、10月（読書週間）に、作成して、図書館及び図書館で読書指導を行う際に、各学級に配布している。 また、長期休業中子どもが1人でも読書に使えるような読みやすいブックリストを作成して、別部署の事業の中で各家庭に配布している。
22	小田原市	交通安全運動推進事業	市民部地域安全課	幼稚園・保育園、小学校、中学校等からの申込みを受け、交通安全教育指導員（会計年度任用職員）による交通安全教室を開催する。 ○内容 横断歩道の渡り方、自転車道の正しい乗り方などに係る講座及び実技指導 小学校1年生から4年生までを対象とした「親子おこづかい教室」を開催する。
23	小田原市	消費生活啓発事業	市民部地域安全課	○開催時期 夏休み（8月頃） ○対象者 小学校1年生～4年生の子ども及び保護者（20組程度） ○対象者 小学校1年生～4年生の子ども及び保護者（20組程度）
24	小田原市	保健教育事業	教育局学校安全課	性に対する正しい知識の普及を目的に、小田原市立中学校の生徒や保護者を対象に、専門的知見を持った医師等を講師に迎え、医療現場の実情を踏まえた性教育講演会を中学校単位で実施している。この講演会を実施することにより、いのちを尊重し、自分と相手と大切にすること、思いやりの心で行動すること、豊かな人間性の育成に役立っている。
25	小田原市	食育啓発事業	教育局学校安全課	各学校で作成している「食に関する年間指導計画」をもとに、栄養教諭・学校栄養職員が中心となり、食育授業や「市場の日」を実施。また、長期休業中子どもが1人でも読書に使えるような読みやすいブックリストを作成し、各学級のホームページ等を活用し周知した。
26	小田原市	人権教育推進事業	教育局教育指導課	児童生徒が人間の生命の尊厳についての理解を深め、学校、地域、家庭における人権尊重の習慣の涵養を図るため、人権教育移動教室を開催するとともに、教職員の人権意識を高め今日的な人権課題に関する知識の習得及び実践力の向上を図るため、人権教育研修会を開催する。
27	茅ヶ崎市	地域教育講演会・懇談会	教育政策課	市民ニーズの把握と地域の教育力向上を図るため、教育に関する講演会を開催する。子どもを取り巻く現状から、教育に関するさまざまな課題について、専門の講師から情報提供をいただき、地域・家庭ができることを考える機会とする。
28	茅ヶ崎市	「子どもの教育」講座・講演事業	教育委員会教育推進部教育センター	幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業の成果を踏まえ、講座・講演会を開催し、市民全体の教育への関心を向上させる。 「教育講演会」市役所を会場に開催 「乳幼児期の子ども・子育て講座」市役所を会場に年2回開催 「乳幼児期の子ども・子育て出前講座」市立保育園を会場に年6回開催 「乳幼児期から児童期の子ども・子育て出前講座」公民館・コミュニティセンター等を会場に年3回開催

6 他都市の家庭教育支援（神奈川県）

「家庭教育支援」取組状況調査の結果について(令和4年度現在)

項目	自治体名	事業名	所管部署	内容
29	茅ヶ崎市	幼児期の教育に関する基礎研究・研修・講演事業	教育委員会教育推進部教育センター	幼児期の教育に関する研修事業の成果を踏まえ、講座・講演会等を開催し、市民全体の教育への関心を向上させる。 「茅ヶ崎市教育講演会」市役所を会場に開催 「第12回響きあい教育シンポジウム」市役所を会場に開催 「幼児教育研修会」市役所を会場に開催 「乳幼児期の子育て・子育て講座」市役所を会場に開催
30	茅ヶ崎市	保幼小中等連携教育連携研究事業	教育委員会教育推進部教育センター	幼・保・こ・小教育関係職員並びに本市関係職員による情報交換を行う。 「茅ヶ崎市幼児・小学校教育連携連絡会」青少年会館を会場に年2回開催
31	茅ヶ崎市	子育て支援講座「歯みがきって楽しいよ！」	教育委員会教育推進部青少年課茅ヶ崎公園団体学習センター	○目的 お話と人形劇で子どもの歯の大切さ、歯の磨き方をお子さんといっしょに楽しく学ぶ。 ○内容 講座は、①歯科医師の講話②歯科衛生士による虫歯予防の人形劇③歯科衛生士による説明④歯みがき指導、相談という構成 ①については、歯の大切さ、生まれて数日の赤ちゃんの歯の状態、歯のケアの方法などスライドを利用した説明。③、④については歯科衛生士による歯みがきの仕方の説明の後、個別指導や相談。 ○実施場所 平成30年度までは生涯学習少年会館、令和元年度は体験学習センター
32	茅ヶ崎市	親子事業	教育委員会教育推進部青少年課茅ヶ崎少年会館	親と子が一緒に参加して同じテーマで学習することによって共通の話題を持ち、親子のふれあいを図ることを目的とした体験型講座 ○体験の履修 年1回1回、等
33	茅ヶ崎市	ブックスタート事業	教育推進部図書館	○内容 乳児及びその保護者が絵本を通して有益な時間を過ごすため、市民ボランティア等が絵本の読み聞かせを行い、絵本2冊の入ったブックスタートバックを配付する。 ○従事者 ボランティア団体、図書館職員 ○実施場所 保健所、図書館、図書館茅ヶ崎分館、ハマミニア図書館
34	茅ヶ崎市	小学校ふれあいプラザ	教育推進部青少年課	放課後に学校の体育館や教室を活用し、子どもたちの安全・安心な放課後の居場所を設けています。 地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進しています。 プラザには、子どもたちの安全管理を図る「パートナー」、学ぶ意欲がある子どもたちに対して、学習機会を提供する取組の充実を図る「学習アドバイザー」、プラザの運営に関し、総合的な調整を担う「コーディネーター」を配置しています。
35	茅ヶ崎市	わらべうたと絵本で遊ぼう	教育委員会教育推進部社会教育課南郷公民館	わらべうたを通して、子どもたちの情緒や感性を育みながら、親子同士のコミュニケーションの向上を図る。また、不安や孤立感を感じている母親に対し、同じ子育ての悩みを抱えている親同士の仲間づくりや居場所づくりの場を提供することで育児不安を軽減する。 おおむね毎月1回90分の講座を公民館で実施。 わらべうたを通じた手遊び、絵本の読み聞かせ、子育て相談、フリートーク
36	茅ヶ崎市	乳幼児健康相談	教育委員会教育推進部社会教育課茅ヶ崎公民館	乳幼児の心身の健全な発達を支援すると同時に、保護者の育児サポートを行う。 概ね2ヶ月に1回、保健師および栄養士を招き公民館で実施。 内容 乳幼児の身体測定、保護者に対する栄養、発育、しつけの相談
37	茅ヶ崎市	ちびっこ広場	教育委員会教育推進部社会教育課小和田公民館	地域における子ども同士のふれあいや保護者の仲間づくりを目指し、子育てサークル、人形劇サークル、青少年育成推進協議会、民生委員児童委員、その他個人の協力を得て実施。 おおむね毎月1回90分の事業を公民館で実施。 ○内容 パネルシアター、サークル発表、歌、誕生日お祝い、お楽しみ会、リトミック、工作、ダンス、粘土遊び、手遊び、人形劇など
38	茅ヶ崎市	子育ての広場 カルガモ	教育委員会教育推進部社会教育課緑蔭公民館	乳幼児を持つ家族の憩いの場として公民館の子ども室を開放する。 育児をしている母親たちの息抜きとなり、母親も子どもも楽しめる時間を設ける。（どんぐりさんとあそぼう！） 自然な形で育児に関する悩みや不安を軽減できるよう、保育サークル「カルガモ」（元幼稚園教師）に見守ってもらう。 乳幼児を含む数年前の子どもとその保護者、子育てに関心のある方、子育てに関わりた方など幅広い年齢層の方々が公民館に集まる機会をつくることにより、着いお母さんたちが一人で悩むことなく、子育てで生
39	茅ヶ崎市	子育てフリースペース	教育委員会教育推進部社会教育課松林公民館	活の悩みを皆で共有することができるようになる。 おおむね隔週月に1回90分の講座を公民館で実施。 ○内容 絵本の読み聞かせ、手遊び、歌、フリートーク、ベビーマッサージ、マインドフルネス 保育士を招き、子どもたちの楽しみ、遊び、おもしろい作り方を実施
40	逗子市	家庭教育講座	教育委員会教育部社会教育課	地域全体で子どもを育てる機運醸成のため、子育て中の保護者を対象に、子育てに役立つ知識等の学習機会を提供する。 年間4～5回の講座を市公民館にて実施。
41	葉野市	家庭教育支援講演会	文化スポーツ部生涯学習課	○内容 核家族化や少子化等の社会情勢の変化により、親が身近な子育てから学ぶ機会の減少や地域とのつながりの希薄化等が問題になっていることから、子育て中の保護者を対象に、家庭教育支援講演会を年1回開催しています。 ○従事者 市職員 ○実施場所 市保健福祉センター ○実施回数 年1回 ○その他 H29年度から市PTA連絡協議会と共催
42	葉野市	ドキドキ子育てパンフレットの配布	文化スポーツ部生涯学習課	○内容 大館科学省作成の家庭教育手帳を放映して印刷し、1歳児半健診時に保護者へ配布している。 ○従事者 市職員 ○実施場所 市保健福祉センター ○実施回数 1歳児半健診時に配布
43	葉野市	親子川柳大会事業	文化スポーツ部生涯学習課	○内容 普段、思っても言えない親子間の感謝の思いやふれあいの言葉を「川柳」という形で表現することによって、家族同士の心のつながりについて見つめ直す機会を持ってもらうことを目的に開催しています。 ○従事者 市職員、実行委員 ○実施場所 市役所教育庁舎（表彰式） ○実施回数 年1回（実行委員会3回開催）
44	葉野市	親と子の音楽会事業	文化スポーツ部生涯学習課	○内容 親と子の絆を深め、家庭・地域のふれあいを育むとともに、子どもたちが音楽の発表の場を通じて豊かな心、自ら学ぶ力などを育む生涯学習の場として開催しています。 ○従事者 市職員、参加団体 ○実施場所 市文化会館 ○実施回数 年1回（実行委員会8回開催） ○その他 実行委員会は参加団体で構成
45	厚木市	家庭教育学級交付金	教育委員会社会教育部社会教育課	○開設主管 厚木市幼稚園保護者会、市立小中学校PTA等 ○概要 家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小中学校PTA等に交付金を交付し、家庭教育学級の開設支援をする。 令和3年度は、交付金対象39団体のうち、36団体に実施（うち5団体は交付金使用せず実施） ○概要 家庭教育の必要性や重要性を啓発するとともに、家庭教育に必要な情報を提供するために幼稚園保護者会、小中学校PTA等幼児・児童等の保護者を対象に講演会等を実施する。 令和3年11月13日「しあわせの隠れ場所」上映会 令和4年1月31日「ほんの少しの発想転換で子どもはぐんぐん伸びる」 ～子どもの学ぶ力・考える力を伸ばすには？～ 講演会 令和4年2月28日「子育てのメンタルトレーニング法」 ～イライラや怒りの感情と上手に付き合おう～ 講演会 ※②③はオンライン開催
46	厚木市	家庭教育情報提供事業費	教育委員会社会教育部社会教育課	○概要 家庭教育の必要性や重要性を啓発するとともに、家庭教育に必要な情報を提供するために幼稚園保護者会、小中学校PTA等幼児・児童等の保護者を対象に講演会等を実施する。 令和3年11月13日「しあわせの隠れ場所」上映会 令和4年1月31日「ほんの少しの発想転換で子どもはぐんぐん伸びる」 ～子どもの学ぶ力・考える力を伸ばすには？～ 講演会 令和4年2月28日「子育てのメンタルトレーニング法」 ～イライラや怒りの感情と上手に付き合おう～ 講演会 ※②③はオンライン開催

6 他都市の家庭教育支援（神奈川県）

「家庭教育支援」取組状況調査の結果について(令和4年度現在)

項目	自治体名	事業名	所管部署	内容
47	厚木市	地域ぐるみ家庭教育支援事業費	教育委員会社会教育部社会教育課	地域で家庭教育支援を推進するために必要な情報提供や、他市等の実践事例などを、関係団体や地域の方に学習していただき、全市で情報共有を図るために、フォーラムを開催する。 令和3年度はオンライン開催とし、 内容：地域ぐるみ家庭教育支援及び地域学校協働活動について 配信時期：令和3年3月下旬から5月下旬まで
48	厚木市	地域ぐるみ家庭教育支援事業交付金	教育委員会社会教育部社会教育課	家庭教育の向上を目指すため、「地域で子どもを育てる」という意識の向上を図ることを目的とし、各地区の公民館が中心となり、地域の各種団体が連携して事業を開催し、地域ぐるみで家庭教育向上を目指した事業を開催する。 令和3年度は、全15地区で実施（うち2地区は交付金使用せず実施）。 ○実施日 令和4年11月23日（水・祝） ○実施場所：コミュニティセンター中央公民館 ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
49	大和市	家庭教育支援講座	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
50	大和市	オンライン保育室 ほっと☆のびのび	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 5月～7月（原則月1回）金曜日 ○場所 オンライン（講師・職員が施設内会議室より配信） ○内容 本施設内で子育て、育児に関する悩みや、子育ての情報交換および情報提供を目的に行っていた事業をコロナ禍で各種行政主催イベントが中止になったことをきっかけに、オンライン開催へ移行した。 対面で行っていたように、親同士の交流や子育ての悩みなど気軽に参加できるように工夫して行った。 ○従事者 登録ボランティア（地域有識者等）およびコミュニティ学習センター職員 ○実施日 9月11月1月（原則月1回）金曜日 ○場所 オンライン（講師・職員が施設内会議室より配信） ○内容 コロナ禍で外出の難しい乳幼児の親子が気軽に参加できる場をオンラインで提供した。 カリキュラム例）ベビージョグ・マママッティングでリフレッシュ、子育ての悩みをお話にしたリフレッシュトーク、手遊びやエプロンシアターなど
51	大和市	オンライン保育室	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
52	大和市	パパ＆ママとあかちゃんのおはなし会	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
53	大和市	自然ふれあいあそび～ふしぎなもの目玉をみ～り量か感性を育む	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
54	大和市	子育て応援オンライン講座	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
55	大和市	児童家庭教育学級「個性をつがさない子育て～知って、みとめて、向き合おう～」	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
56	大和市	みんなあつまれ！ちえりんのおはなし会	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
57	大和市	ちえりんのへや	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
58	大和市	子育てパパが未来を定える！～男性の育児を定える！～	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
59	大和市	英語で遊ぼう！Story Time	文化スポーツ部図書・学び交流課	○実施日 令和4年6月11日（土） ○実施場所：北部文化・スポーツ・子育てセンター ○従事者 大和市社会教育委員、大和市図書・学び交流推進課 ○内容 講座前夜祭社会教育委員による家庭教育支援の取組等についての座学、グループワーク。講座後は講師を招いての自然体験学習。 家庭教育の家庭教育力向上を図るため、地域住民の交流が促進され、子育てをみんなで行える意識を高め、大和市における子育て環境の改善をねらいとし、効果的な手法をモデル事業の実施により検討し、その成果を市内全域へ普及できるように、家庭教育支援に関する講座を社会教育委員が企画、子育てに不安や悩みを持ち、孤立しがちな保護者や、興味があっても仕事が忙しく、学習センターで行われる講座に参加が難しい保護者等が参加しやすいよう、地域住民に身近なコミュニティセンターに出向くアウトリーチ型のモデル事業を市の北・中・南部地区で実施。
60	伊勢原市	家庭教育講演会	教育部社会教育課	子どもの成長・発達にとって大変重要である家庭教育を支援するため家庭教育に関する講演会を開催し、市民の学習活動の支援を図る。 ○実施場所 公民館、学校（体育館）
61	伊勢原市	幼児家庭教育学級	教育部社会教育課	7歳から未就学児までの子どもとその保護者を対象とし、親には子育てに役立つ知識の習得、仲間づくりやリフレッシュの場を、子には保育を通して同年代の子と共に共同生活を学ぶ機会を提供することを目的とする。 ○実施場所 公民館
62	海老名市	家庭教育学級	教育委員会社会教育部社会教育課	○実施場所 公民館 ○講座の内容 子育て講座、防災講座、ストレッチ講座、読み聞かせ講座等 ○内容 幼稚園、小中学校において、保護者が主体となり家庭教育学級のテーマを決め、家庭教育学級を開催する。 ○従事者 父母の会やPTAの担当者 ○実施場所 各幼稚園、小中学校
63	座間市	こころの育児講座開設事業	教育部生涯学習課	乳幼児を持つ親や妊娠中の方やそのパートナー等を対象に、新たな学びによって、広い視野での子育てや仲間づくりができるように、ワークショップなどの手法をとって親自身の家庭教育に対する意識の変革をめざす。 主に市役所や市生涯学習センターなどの公民館施設を会場とし、家庭教育支援や親子の仲間づくり等を目的として保育者講座・学級等の事業を実施。 子育て中の親（夫婦）や妊娠中の方やそのパートナー等を対象とした子育て支援講座を開催し、親が一人で育児を背負い込まず、パートナーと共に協力して子育てしていく機会をめざす。 主に市

6 他都市の家庭教育支援（神奈川県）

「家庭教育支援」取組状況調査の結果について(令和4年度現在)

項目	自治体名	事業名	所管部署	内容
66	座間市	子育て家庭教育講座開設事業	教育部生涯学習課	子どもの発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を体系的総合的に学習するため、市内小・中学校PTA、育児サークル等に対し、子育て家庭教育についての講座開設を委託する。
67	座間市	子育てフェスティバル開催事業	教育部生涯学習課	育児サークルや子育て支援ボランティア等、参加希望団体による実行委員会方式で実施。団体自らの力量をアップさせるとともに、乳幼児やその家族が支援者となりを待ち、学び、楽しんでもらうことで、地域の家庭教育の醸成を目指す事業。 市民文化会館の小ホール等を利用し、お絵かき・おはなし会・紙芝居等の催しを実施。
68	座間市	親と子が共に育つ教室	教育部生涯学習課公民館	①開講式（職員・公民館運営審議会委員・保育ボランティア）②仲間作り（パティシエール）③遊び方教室（任意団体）④コミュニケーション講座（任意団体）⑤防災講座（任意団体）⑥絵本の講座（その他）⑦命について考える（大学助教授）⑧コンサート（任意団体）⑨小動物作り（任意団体）⑩開講式（任意団体） 場所はすべて座間市公民館
69	座間市	パパと遊んじゃおうin公民館	教育部生涯学習課公民館	こどもの成長と発達に応じた男性ならではの遊び方を学ぶ
70	座間市	子育てわくわく学級	教育部生涯学習課北地区文化センター	5歳通級の保育付き講座 地域で子育てをしている若手士が繋がりを持つことで悩みや不安を共有し、学び、語り合うことで家庭教育の充実を支援する。 ○内容（テーマ） こころほんわか わくわく学ぼう 困りごとの解決法（子育ての困りごとをワイワイ話そう） その時に備えて（災害時 子どもを守るために何が必要か） 音と共に心を解放（音を楽しみながら心と体を解放しよう） 大切なあなたへ（大切な人への命のほなし、性のはなしの伝え方） ママカフェ（プロのお手並みを拝見しお茶を飲みながらワクワク話そう） ○実施場所 北地区文化センター
71	座間市	親子講座「家族でパン作り」	教育部生涯学習課北地区文化センター	父親にも参加をしてもらい、家族でパンをすることにより親子の対話や子どもとのふれあいを深める。
72	座間市	乳幼児の体験講座「家族で楽しむ音遊び」	教育部生涯学習課北地区文化センター	音楽に慣れながら子どもたちの楽しげな様子を親も共にすることで家庭教育の充実を支援する
73	座間市	むしがしのたんたんりびんぐ	教育部生涯学習課東地区文化センター	子育て支援の一環として、子育てに不安を感じて地域で友達を作りたい幼児を持つ保護者が自由に入出する場所を提供する。 ○実施場所 東地区文化センター
74	南足柄市	幼児期・小学校期家庭教育支援事業	市民部生涯学習課	各幼保小学校PTA等による家庭教育支援関係の支援（助成） 支援対象は6小学校PTAと9公私立保育園・幼稚園PTA等 ○令和3年度実績 18学級739名参加 ○従事者 1名（生涯学習課社会教育主事） ○実施場所 各幼保小学校会議室・体育館等
75	南足柄市	家庭教育学校事業	市民部生涯学習課	①タッチケア講習会 ○対象 生後2～6ヶ月の乳児とその保護者 ○内容 親子の絆を深めるためのコミュニケーションの取り方を学ぶ ○令和3年度実績 5講座全15回66名参加 ○従事者 2名（生涯学習課生涯学習班職員） ○実施場所 市内中部公民館和室等 ②カンガルーコアラ学級 ○対象 1～4歳の子どものとその保護者 ○内容 親子の絆を深め、親同士のネットワークをつくる ○令和3年度実績 3回18名参加 ○従事者 2名（生涯学習課生涯学習班職員） ○実施場所 市内中部公民館和室等 ③きんたろうバスケット ○対象 父親とその子ども ○内容 父子でふれあいを深め、父親の育児参加を促進する ○令和3年度実績 7回94名参加 ○従事者 2名（生涯学習課生涯学習班職員） ○実施場所 市内中部公民館、市内各体育施設等 ○その他 子育て練習講座、幼児期家庭教育講演会、人権講演会兼PTA研修大会 等
76	綾瀬市	あやせゼロの日運動	市民環境部生涯学習課	テレビやゲームを一切なし、家族の会話やふれあい、コミュニケーションなど、家族の時間を充実させることを目的とした運動。 昨今の社会構造の変化や子どもたちを取り巻く環境の変化により、親子のふれあいが薄れつつあるなか、子どもの豊かな心と家族の絆を育むことのできるよう、毎月10日、20日、30日は家族で読書に親しんだり、おしゃべりや遊びなどで楽しく過ごす家族ふれあいの日を定章させる運動。
77	綾瀬市	地域家庭教育講座	市民環境部生涯学習課	地域及び家庭における教育力の充実を図るための学習機会の提供を行う。
78	綾瀬市	家庭教育推進大会	市民環境部生涯学習課	家庭の教育力の向上及び推進を図るため、開催する。
79	綾瀬市	家庭教育アドバイザー事業	市民環境部生涯学習課	家庭教育に関する啓発及び情報の提供、家庭教育講座等に係る指導、家庭教育力向上のための助言及び相談などを行う、家庭教育アドバイザーを設置する。
80	綾瀬市	公民館講座事業（子育て学習講座）	市民環境部生涯学習課	子育て中の保護者を対象に子育てに必要な基礎知識を学習するとともに、保護者同士が悩みや喜びを共有し、仲間作りなどのきっかけとする。
81	綾瀬市	読書普及事業（おはなし会、読み聞かせ講座）	市民環境部生涯学習課（図書館）	子どもや保護者を対象に、おはなし会や読み聞かせ講座を開催し、子どもの読書活動を推進する。
82	綾瀬市	読書普及事業（ブックスタート）	市民環境部生涯学習課（図書館）	4か月～6か月児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行い、絵本を1冊プレゼントする。
83	綾瀬市	セカンドブック事業	市民環境部生涯学習課	新小学1年生全員に本を配布することで、親子で本に親しむ機会や子どもたちが本に出会う機会の提供など、子ども読書活動及び家庭教育の推進を図る。
84	綾瀬市	読書普及事業（あかちゃんのとしまかん）	市民環境部生涯学習課（図書館）	火曜日（休館日を除く）の10時から正午までの2時間を、乳幼児連れでも利用しやすい子どもの泣き声や話を制止しない時間帯にし、職員が常駐して保護者からの読書相談に応じるほか、状況に応じて乳幼児向けのミニおはなし会を行う。
85	葉山町	家庭教育支援講座	教育部生涯学習課	○令和4年度実施内容 家庭における親子の豊かな関わり方を育てるため、片付けをテーマにした講座を実施。片付けから広がる家事の手続き方法、部屋の環境が子どもの成長に与える影響等についてお話しいただいた。託児付き。 ○実施場所 葉山町教育委員会会議室 ○申込者 20人 ○参加者数 13人 ※令和5年度も内容を変更して開催予定

6 他都市の家庭教育支援（神奈川県）

「家庭教育支援」取組状況調査の結果について(令和4年度現在)

項目	自治体名	事業名	所管部署	内容
86	葉山町	家庭教育支援講座「親子料理教室」	教育生涯学習課	○令和4年度実施内容 親子参加の料理講座。ロールサンドイッチ、レンジで作るチョコクッキー作りを実施。 ○実施場所 葉山町保健センター ○申込者 17組34人 ○参加可能者数 8組16人（抽選） ○参加者数 8組16人 ※令和5年度も開催予定
87	葉山町	葉山町PTA研修会	教育生涯学習課	○令和4年度実施内容 町内の小中学校6校のPTA会員が一堂に会し、研修会を実施。学級委員会、広報委員会、校外委員会に分かれ、グループディスカッションを行った。 ○実施場所 葉山町福祉文化館 ○参加者数 76人
88	葉山町	家庭教育講座等開催事業	教育委員会教育政策課	公民館講座として「ママとベビーのふれあい体操」を開催し、0歳児の親子を対象にベビーマッサージやストレッチを行い、講座参加を通じて、地域でママ友づくりを支援する。
89	葉山町	子ども読書ふれあい事業	教育委員会教育政策課	「おひざにだっこおはなし会」を毎月第1水曜日、第4日曜日の午前中に図書館会議室において、乳幼児と保護者を対象に図書館スタッフが読み聞かせ、手遊び、わらべうた等を実施する。
90	大井町	「家庭教育ハンドブックすこやか」の配付	教育委員会教育政策課	新中学1年生の保護者に対して、命の大切さ、いじめ、不登校への対応など子育てや子どもの教育を考えるための参考となる冊子を配付 ○配付対象 公立中学校の1年生の保護者 ○配付時期 中学校入学式
91	大井町	家庭教育学級	教育委員会生涯学習課	家庭教育充実のため、幼児・児童・生徒の心理、行動等について学習を深めることを目的として、各園・校への委託事業として行う。
92	大井町	すこやか学級	教育委員会生涯学習課	子どもたちの食生活をはじめとする生活習慣や健康や心の成長、人権教育等、今日的課題をふまえた教室が開催できるように、講座の充実に向けて支援していく。
93	松田町	PTA家庭教育学級委託事業	教育委員会教育課	子育てをしている保護者や町民を対象に、悩みの共有や解消を目的とし、2回シリーズで実施する。 子育てに関する情報交換などを行う機会となるような場を設け、座学だけでなく体験型を積極的に取り入れて開催する。 PTAに委託し、家庭教育に関する講座を開催し、子育てについて理解を深め、適切な家庭教育のあり方を学習する場とする。令和4年度は、幼小中合同にて、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭 沼田昌弘氏の「自分で伸びる子の育て方」の講演会を町生涯学習センターにて実施。
94	山北町	放課後子ども教室推進事業	教育委員会こども教育課	○内容 放課後や長期休暇中の子どもの居場所づくり ○従事者 行政職員、地域コーディネーター、学習支援員、協働活動サポーター等 ○実施場所 山北町立川村小学校空き教室等
95	山北町	山北町乳幼児家庭教育学級「親子ふれあい教室」	教育委員会生涯学習課	○内容 親子で楽しむ音楽会（令和4年度） ○講師 音楽サークルはびねす ○実施場所 山北町立生涯学習センター多目的ホール
96	開成町	PTA家庭教育学級の開催支援	教育委員会生涯学習課	幼稚園、小・中学校の保護者等が主体的に学ぶ機会である家庭教育学級の開催を支援するため、年度当初にPTA指導者各種研修会（広報委員、成人教育委員、クラス・学年・学級委員）を実施している。また、事業補助金を交付するため、各PTAに対して月に説明会を開催し、3月には収支会を行い、成果と課題について話し合いの場を設けている。
97	開成町	はじめての三歳児講座	教育委員会生涯学習課	3歳児期の子育てでのポイント、育児でのストレスの解消法などについて学習する機会を提供するとともに、同年齢の子どもを持つ保護者同士の交流を促す。8月中旬に全4回の講座として託児付きで開催している。うち土日の開催日を1～2回設けると、父母がそろって参加しやすいよう配慮している。なお、託児は子育て健康課で登録している託児ボランティアを活用している（有償）。コロナ前は、学校を通じて中学校や高校生への託児ボランティアの募集を行い、ボランティア活動へ参加する機会も提供していた（ボランティア活動証明書を発行）。
98	開成町	教育講演会	教育委員会生涯学習課	PTAや学校の教員や職員などや構成される教育研究会の協力を得ながら、今日的教育課題について、広く講演会などを行う。年1回、8月下旬に開催し、地域との連携や理解を深める機会とする。
99	開成町	家庭における読書活動の推進	教育委員会生涯学習課	町民センター図書館の蔵書とともに、令和4年1月に開催した親子で本に親しむキッズライブラリーの活用を図る。図書館としては、町広報紙に毎月図書館だよりを掲載して新刊案内をしたり、おはなし会（読み聞かせ）や子どもの広場（工作教室）を定期的に開催したりしている。 また、第4次開成町子ども読書活動推進計画に基づき、6・7か月健診時に絵本を贈るファーストブック事業を行ったり、毎月1日をファミリー読書デーとし、ポスターを応募、掲示したりするなど、家庭における読書活動の周知、啓発、支援を図っている。
100	箱根町	家庭教育推進事業	教育委員会生涯学習課	①各小中学校で家庭教育に関する講座の開催 ○内容 体験型教室の講師 講座を実施する講師 ○従事者 PTA及び生涯学習課学習課担当者 ○実施場所 中学校の体育館、教室 ○令和4年度実施例 番木細工体験（コースター作り）、タッパルアクセサリー教室、陶器教室、「成長期の食生活について（お弁当）」講演 ②町立幼・保・小・中学校が輪番で「家庭教育を学べる」と題し、広報紙にコラムを掲載
101	真鶴町	子育て学級	教育委員会教育課	リトミタ体験教室（6月26日（日）、1月22日（日）） わらべ歌体験教室（7月15日（金）、10月30日（日）） 講演会「育える前に知っておきたい親子の防犯」（11月27日（日））
102	湯河原町	家庭教育学級	教育委員会事務局社会教育課	社会の変化と共に、家族や子どもを取り巻く環境が様々に変化する中、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子どもたちの子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高めるために、保育園、幼稚園、小中学校の保護者に対して、年3回、家庭教育学級を開催する。主に子育てに関する講演会などを予定。毎回の参加者は70名程度を想定。 また、これに合わせて、教育委員会や保健センターが主催する学級・講座を子育て中の方が受講する際に、子どもを預けて安心して参加できるように、受講中の保育を保育グループ「エプロンママ」に委託する。
103	愛川町	「家庭の日」の啓発	教育委員会生涯学習課	広報紙で、毎月第3日曜日の「家庭の日」について啓発するとともに、町ホームページ等でPTAの活動を紹介するなど、家庭教育に関する情報提供に努める。
104	愛川町	「子どもいきいき宣言」等の普及	教育委員会指導室	自治体ホームページに「子ども生き生き宣言」を掲載するとともに、「子育ていきいき宣言」写真コンクールを実施し、各家庭への周知に努める。
105	愛川町	子育て支援相談	民生部健康推進課	母親等の育児不安や負担を軽減し安心して子育てができるよう、保健師・看護師等による育児・健康相談を実施する。
106	愛川町	PTA家庭教育学級	教育委員会生涯学習課	よりよい家庭や親のあり方、家庭の教育力を向上させるため、小中学校PTAが企画・運営する家庭教育学級を開催する。
107	清川村	教育指導・相談事業（訪問教育相談員）	教育委員会事務局 学校教育課	訪問教育相談員による来所・電話相談及び学校訪問を行い、支援の必要な家庭に対して相談業務を行う。

＜取組の傾向＞

県内の家庭教育支援取組状況を見ると、

- ①公民館や文化センターでの講座（本市で行う「家庭・地域教育学級」的な取組）
- ②PTAなどの団体による家庭教育学級（本市で行う「PTA家庭教育学級」的な取組）
- ③家庭教育に係る多様なテーマでの講演会やイベント
- ④家庭教育の啓発に係る広報や情報提供（本市で行う「ホームページでの広報」的な取組）

などが主に実施されていて、およそ本市の取組と似通っています。

7 社会教育委員会議での議論

●第5回定例会（11月28日）

- ・家庭教育支援について、現状と課題、国の取組、本市の現在の取組などについて説明
- ・関連する法律や、これまでの取組など資料の説明
- ・社会教育委員からいただきたい意見はどのようなものか、ポイントの説明

●第6回定例会（12月20日）

- ・社会教育委員から意見聴取

本市では、家庭教育の推進にあたり取組を進めておりますが、コロナ以降の家庭教育学級の参加者や担い手の減少、家庭教育自体の必要性や認知度の向上等に課題を抱えているところです。

次年度の教育プランの改定にあたり、現状の地域や市民ニーズを捉え、効果的な家庭教育推進の取組を検討するため、主に以下の点について、**社会教育委員の皆様、それぞれの立場と知見から御意見をいただきたい**と考えています。

- ・現状の市域における家庭教育について（ニーズ、内容、担い手等）
- ・家庭教育支援の充実について（取組、内容、実施場所等）
- ・家庭教育の普及啓発について（認知度向上、広報等）

7 社会教育委員会議での議論

●意見聴取のポイント

現状の市域における家庭教育について（ニーズ、内容、担い手等）

- ・家庭教育の現状をどのように認識していますか、また、どのような、課題やニーズがあると感じていますか。

家庭教育支援の充実について（取組、内容、実施場所等）

- ・家庭教育支援事業について、どのような課題があると感じていますか。
- ・家庭教育支援事業を、さらに充実させるためにどのようなことができると考えますか。
例）学級テーマや対象を設定する際のアイデア、
実施形式（講義形式、ワークショップ、オンラインの活用など）や実施場所に関するアイデア

家庭教育の普及啓発について（認知度向上、広報等）

- ・生涯学習部門における家庭教育については、国のアンケート調査（参考資料参照）を見ても、「家庭教育」という言葉には馴染みがあるものの、その具体的内容についてはあまり浸透していないということが言えます。家庭教育を普及啓発していくために、生涯学習部門ではどのようなことができると思いますか。
例）認知度向上のための取組としてホームページの充実に関するアイデア
家庭教育支援講座（出前講座）そのものの幅広い広報の方法に関するアイデア など

こども基本法

資料 2－2

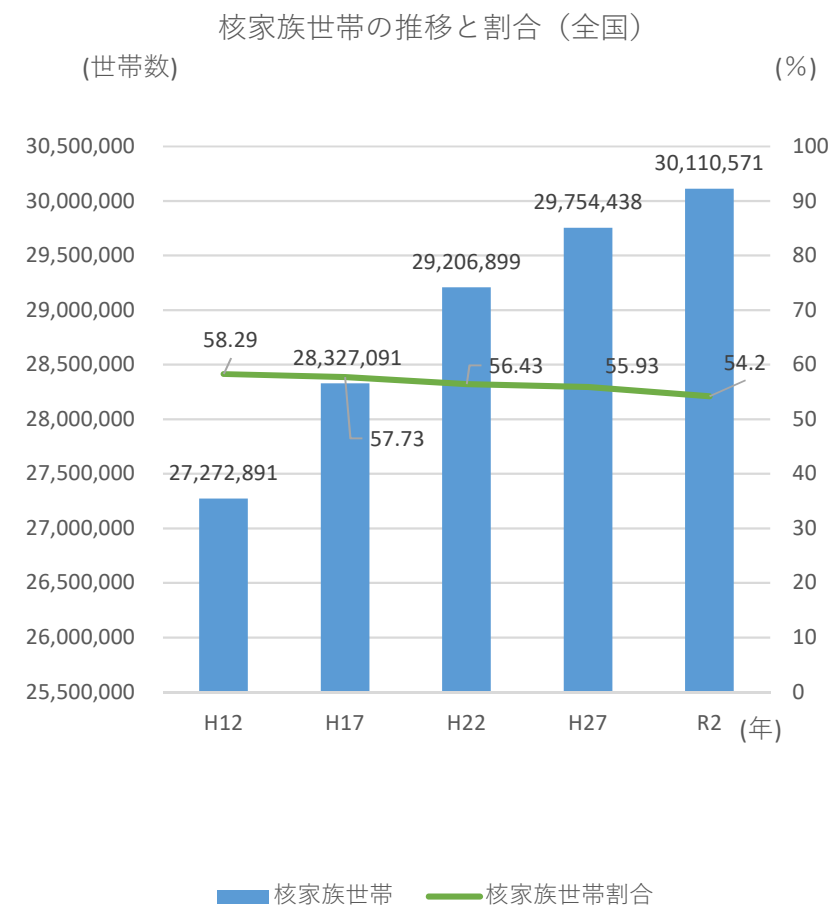
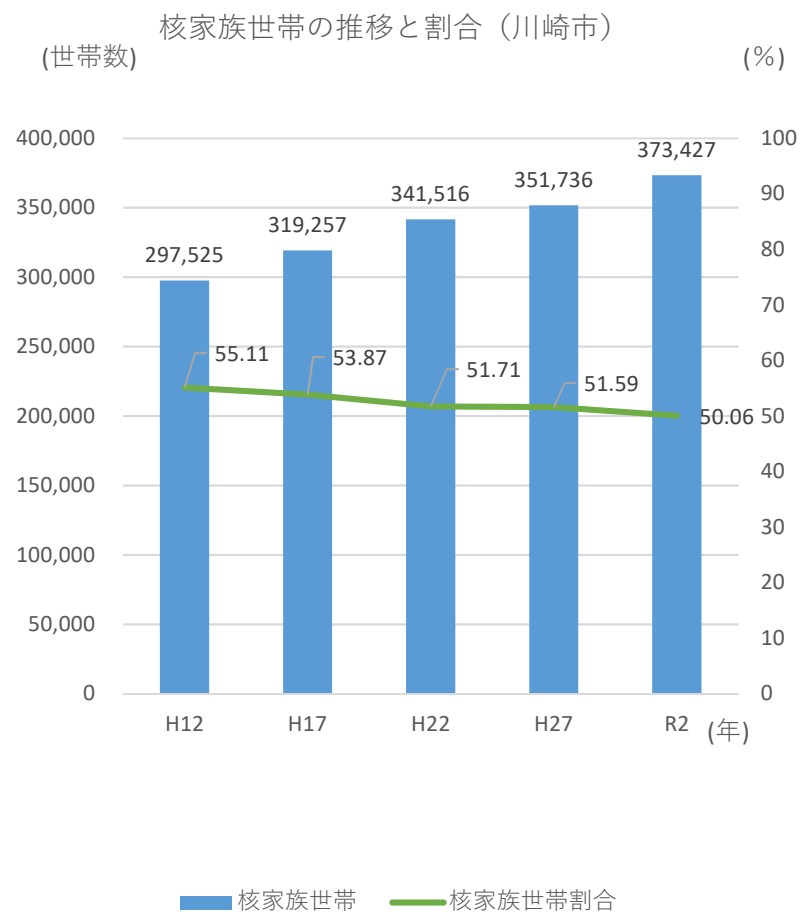
●こども基本法（令和４年法律第７７号）

（基本理念）

第三条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

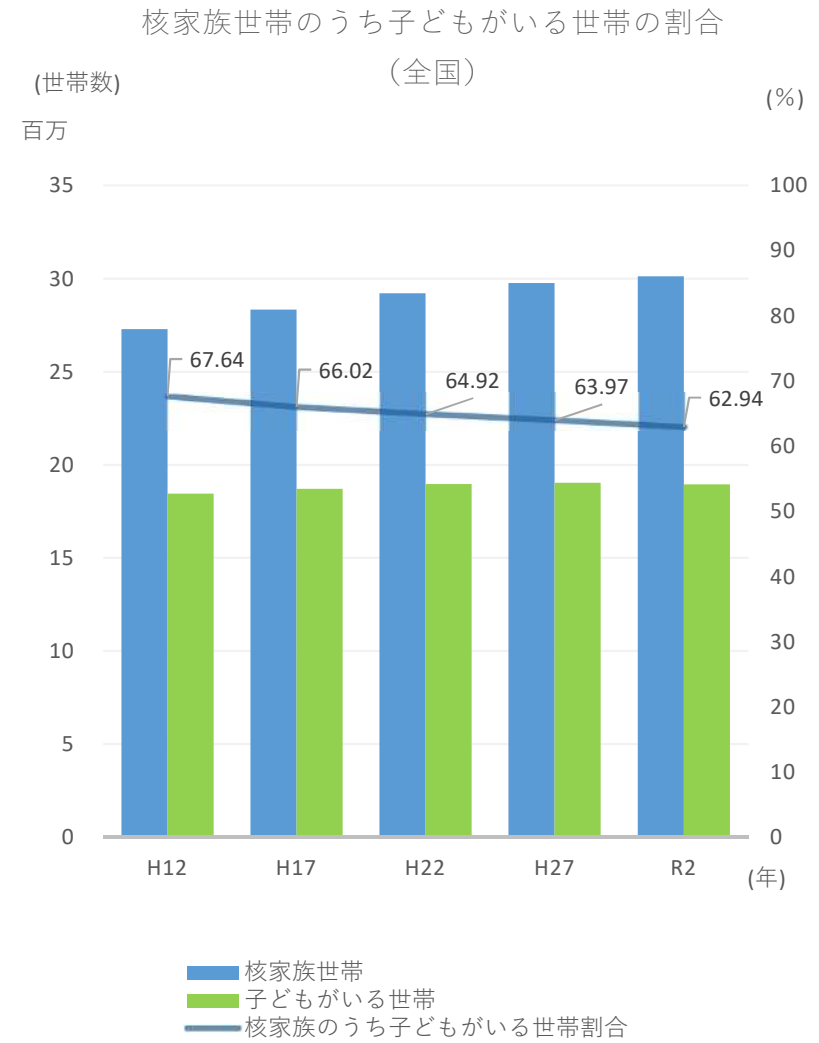
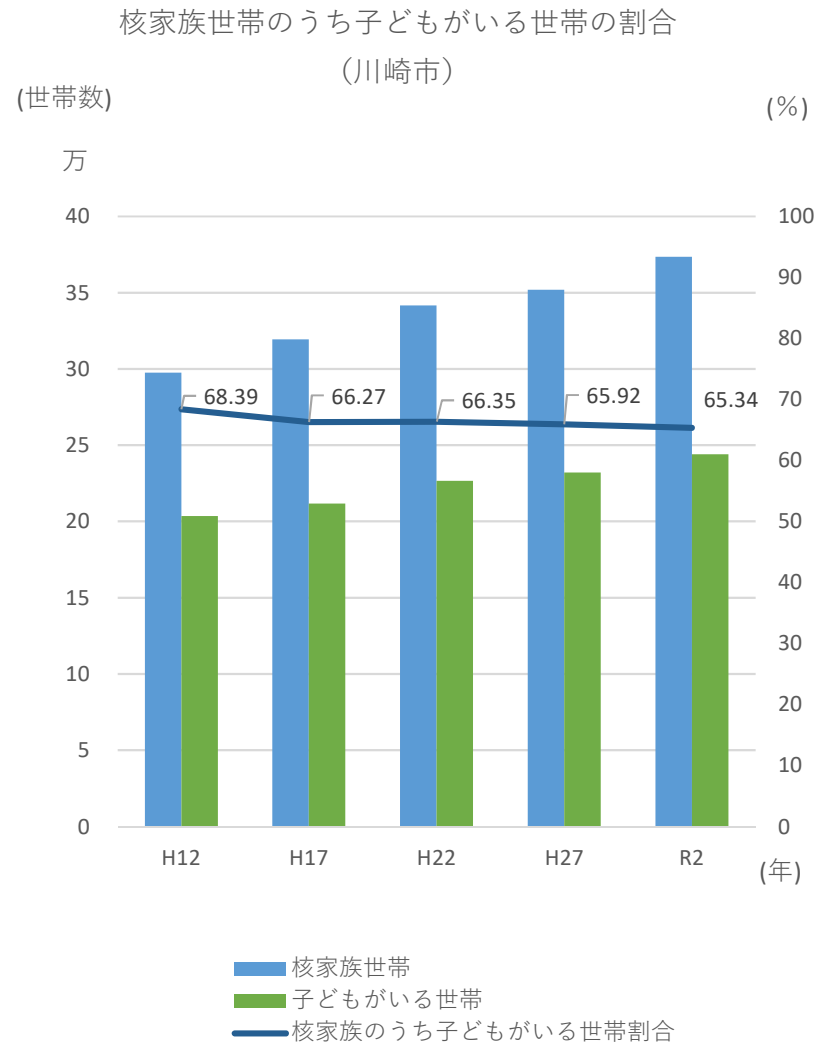
- 一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、差別的取扱いを受けることがないようにすること。
- 二 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法（平成十八年法律第百二十号）の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。
- 三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。
- 四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。
- 五 **こどもの養育については、家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、これらの者に対してこどもの養育に関し十分な支援を行う**とともに、家庭での養育が困難なこどもにはできる限り家庭と同様の養育環境を確保することにより、こどもが心身ともに健やかに育成されるようにすること。
- 六 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境を整備すること。

核家族世帯の推移と割合



出典：「令和2年国勢調査結果」「平成27年国勢調査結果」（総務省統計局）

核家族世帯のうち子どもがいる世帯の割合



出典：「令和2年国勢調査結果」「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)